

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
1	埼玉大学	連続市民講座	平成21年度	産業界（企業等）			読売新聞さいたま支局との共催で、埼玉大学における研究成果の一端を市民の皆さまに紹介し、豊かな地域づくりに役立てていただくことを目的として開催している公開講座。（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。）
2	埼玉大学	埼玉大学産学官連携協議会	平成12年度	産業界（企業等）			県内企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立され、県内企業等の経営者、技術者および埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学における各種情報発信、共同研究等への発展が期待される研究課題についての研究会活動などを実施している。
3	埼玉大学	埼玉大学高大連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等			高等学校生徒に大学教育を開放し、もって大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計ることを目的として、本学と協定を締結している高等学校の生徒に対し、本学で開講している授業を受講してもらい、希望者には本学の規則に基づいて単位を認定している。 ※協定締結校：県立浦和高等学校、県立浦和北高等学校、県立川口北高等学校、県立大宮高等学校、県立浦和西高等学校、県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、さいたま市立浦和南高等学校、さいたま市立大宮北高等学校
4	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、県内企業が抱える業務運営上の課題解決に資することを目的とし、平成28年度から「課題解決型長期インターンシップ」を開講している。各企業での実習後、参加学生、受入企業、大学関係者が参集し「成果報告会」を開催する。
5	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結しているJR東日本大宮支社と連携し、平成28年度から「課題解決型長期インターンシップ」（全15回）を開講している。関連講義、フィールドワーク、グループワークを経て、学生たちが検討したまちづくりの具体案を最終講義で発表する。
6	埼玉大学	課題解決型プログラム	平成29年度	産業界（企業等）			アトレ浦和店と連携し、平成29年度から「課題解決型インターンシップ」（全8回）として開講し、平成30年度から「課題解決型プログラム」と名称を変更した。フィールドワークや取材を通して、浦和を中心とした地域の魅力づくりや活性化のための提案をまとめ、最終講義で発表する。また、その内容はアトレ浦和情報誌「U LaLa」に掲載される。（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。）
7	埼玉大学	課題解決型プログラム	平成29年度	産業界（企業等）			学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、自ら「主体的」に学び行動する力を身につけることを目的とし、平成29年度から「課題解決型プログラム」（全16回）として開講している。各企業が提示する課題に対してグループごとに解決策を考案し、発表する。
8	埼玉大学	地域志向科目（地域創生を考えるa、地域創生を考えるb）の実施	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		県内企業や県内自治体から招いたゲストスピーカーの講演を通して、「社会へ出るために、今、何をすればよいのか？」という自らのキャリア形成について考えてもらうとともに、埼玉県に対する理解を深めてもらうことを目的とした授業科目を開講している。
9	埼玉大学	高校生のためのグローバルセミナー	平成22年度	自治体（行政）			県内在学・在住の高校生を対象として、グローバル人材へのきっかけ作りとなるべく、高校生が国際感覚を身につけたいという気持ちを後押しするための講座を開催している。
10	埼玉大学	埼玉大学教養学部ミュージアム・カレッジ	平成13年度	自治体（行政）			埼玉大学教養学部が埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立近代美術館とそれぞれ隔年で共催する公開講座。令和2年度は埼玉県立歴史と民俗の博物館との共催で開講する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。
11	埼玉大学	埼玉大学経済学部市民講座	平成8年度	自治体（行政）			埼玉大学経済学部とさいたま市教育委員会の主催で実施している公開講座。開かれた大学を実現するため、県民・市民との交流を図り、地域社会の文化の向上に資することを目的としており、令和2年度は「岐路に立つ世界と日本の経済社会」をテーマに全8回開講した。ただし、新型コロナウイルス感染症対策として募集人数を40名に縮小して行った。
12	埼玉大学	埼玉大学・戸田市連携講座	平成23年度	自治体（行政）			戸田市民大学認定講座として実施している公開講座。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として募集人数を縮小して全4回開講した。
13	埼玉大学	3D-CAD & 3Dプリンター無料研修	平成26年度	自治体（行政）			さいたま市と連携して、市内のものづくり企業が新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的とする。さいたま市の「さいたま市高度ものづくり人材育成支援業務」の一環として実施している。
14	埼玉大学	リカレント教育 経済学部夜間開放授業	平成17年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指して、経済学部夜間開放授業を実施している。
15	埼玉県立大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）			地域の大学や市町村、企業・NPO、県が連携して、子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 小学4年生～6年生 定員50名 ・コロナ禍により令和2年度は中止となった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
16	埼玉県立大学	りそなキッズマネーアカデミー	平成23年度	産業界（企業等）			埼玉りそな銀行との共催で、小学生を対象に、お金の流れや社会における銀行の役割などに関する講義や、保健・医療・福祉分野に関する講義・実技を内容とするセミナーを開催する。 小学3年生～4年生 定員20名 ・コロナ禍により令和2年度は中止となった。
17	埼玉県立大学	越谷市シルバーカレッジ	平成17年度	自治体（行政）			生涯学習の一環として高齢者に学習の機会を提供する。越谷市在住の60歳以上の方 定員150名 ・コロナ禍により令和2年度は中止となった。
18	埼玉県立大学	見えないチカラを伸ばし夢をつかむリアル体験事業	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県と連携し、青少年の夢発見と夢実現を支援するため、プロから学び体験する教室を開催する。 【埼玉県立大学コース】小学4年生～6年生 定員各15名 ・3月20日（土） 【第1回】10:00～12:00 【第2回】13:30～15:30「看護師になりたい」 看護学科 鈴木康美教授他
19	埼玉県立大学	埼玉県立大学&浦和レッズ “ハートフルコラボレーション”	平成25年度	産業界（企業等）			浦和レッズと連携し、サッカーを通じたスポーツの振興と地域住民の健康づくりのため、イベントを開催する。 「親子サッカー教室」小学校1年生～3年生とその保護者が対象 ・コロナ禍により令和2年度は中止となった。
20	跡見学園女子大学	跡見学園女子大学公開講座	昭和55年度	自治体（行政）			本学新座キャンパスでは、新座市教育委員会共催又は新座市教育委員会後援、及び埼玉県教育委員会後援、並びに「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」の一環として「教養コース」「パソコンコース」「語学コース（英語、中国語、朝鮮・韓国語）」を開講している。→令和2年度は中止
21	跡見学園女子大学	新座市民総合大学	平成12年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		新座市内にある3大学（十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学）がそれぞれ講座を開講している。新座市内在住、もしくは在勤・在学の18歳以上の方が受講対象。→令和2年度は中止
22	跡見学園女子大学	出張講義	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等			学問への関心を喚起し、また進路選択の一助となることを目的として、本学教員が高校に出向き授業を行う出張講義を実施している。教員の幅広い専門分野を網羅する形で講義メニューを用意し、高校に案内している。
23	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムは、埼玉県内にある16の大学が、連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展化を図るとともに、生涯学習や産官学の地域交流を推進し、地域の教育・文化の発展を図ることを目的として設置されたもの。生涯学習、地域社会への貢献を目的として、加盟大学のうち11大学により年に一度、各大学が協力をして公開講座を行っている。→令和2年度は中止
24	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉県内にキャンパスのある大学が相互に協定を結び、「彩の国大学コンソーシアム単位互換制度」を発足させた。現在、加盟大学は10校で、それぞれ科目を定めて相互に学生を受け入れている。36単位を超えない範囲で、本学の卒業要件の単位として認定される。→令和2年度は中止
25	跡見学園女子大学	インターンシップ	平成15年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	講義科目で学ぶマネジメントに関する理論を、企業・団体や地方自治体等における就業体験を通してさらに発展させ、学生の学習の方向性を明確にするとともに、マネジメントの「マインドとスキル」習得により、実務能力を高めるきっかけとすることを目標としている。 埼玉県の企業と連携し、企業が抱える課題について学生がグループで検討し、その解決策を提案することを通じ、学生の考える力、課題発見・解決力、チームワーク力、プレゼンテーション力を高めることを目標としている。→令和2年度は中止
26	浦和大学・浦和大学短期大学部	社会福祉法人浦和福祉会との連携	平成11年度	その他			社会福祉法人浦和福祉会 特別養護老人ホーム「スマイルハウス」と連携し、教育・研究面で様々な交流を生み、大学・施設双方に有意義な連携活動がなされている。
27	浦和大学・浦和大学短期大学部	「大崎むつみの里」就労支援	平成14年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			知的障害者施設「大崎むつみの里」の就労移行支援及び就労継続支援に協力し、週2回の学内清掃作業を同施設に依頼して。本学が福祉の大学として就労支援に協力することは、本学学生、知的障害者双方に大変有意義なプロジェクトとなっている。
28	浦和大学・浦和大学短期大学部	「緑区区民祭り」への参加・協力	平成15年度	自治体（行政）			毎年、秋（10月）にさいたま市緑区主催「緑区区民まつり」が開催され、第1回から開催・運営の協力を行っている。今年度は、38名の学生が参加をし、地域のこどもたちに「遊び」を教授したり、高齢者の方々とステージにおいて介護予防体操を行い、参加される区民の皆さんの健康づくりや仲間・家族の交流促進に貢献している。
29	浦和大学・浦和大学短期大学部	リレーフォーライフへの参加	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			公益財団法人日本対がん協会が推進するがん征圧を社会に訴える活動であるリレーフォーライフさいたまに本学福祉教育センターが窓口となり、学生を募り、3日間にわたり、がんに対する知識の普及と啓蒙活動に協力した。
30	浦和大学・浦和大学短期大学部	「イノセンスアート」授業における障がい児との交流	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			地域で児童ディサービスを実施しているNPO法人わんぱくクラブの障がい児約10名が各週で授業に参加しクリエイティブ活動を実施している。学生も支援の在り方を学び芸術性を高めている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
31	浦和大学・浦和大学短期大学部	親支援講座の開設	平成20年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			浦和大学と学術交流の協定を結ぶカナダを代表するライオン大学における家族支援プログラム「Nobody's Perfect (ノーバディーズ・パーフェクト)」講座を開講している。本学・こども学部にはカナダのファシリテーターの資格を有する教員がいることから、親子のひろば「ぼっけ」に参加している親の中から希望者を募り、受講できるようにしている。
32	浦和大学・浦和大学短期大学部	子育て・家族支援ファシリテータ養成講座	平成20年度	自治体（行政）	大学・短大 (大学・短大間連携)		平成20年度より子育て支援に携わるスタッフを対象とした講座をさいたま市こども未来局後援の下、本学と学術交流・提携に関して協定を締結しているカナダで唯一家族支援を学ぶライオン大学の理論と実践を生かした教材を使い、国際的な視野での学習を促進する講座を実施してきた。平成27年度より、広くさいたま市民の方々に子育てや家族を支援することに関心を持っていただける講座を開講している。
33	浦和大学・浦和大学短期大学部	大学によるリカレント教育 (開放授業講座)	平成20年度	自治体（行政）			県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に、授業科目の一部を受講できるように開放している。
34	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま市民大学への協力	平成23年度	自治体（行政）			さいたま市が生涯教育の一環として毎年運営している「さいたま市民大学」にほぼ毎年本学から優秀な講師陣を派遣し、市民大学の運営を支えている。
35	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま市との協力関係	平成23年度	自治体（行政）			さいたま市内でこども学部を有する唯一の私立大学であることから、本学教員はさいたま市の保育園の巡回相談への協力、さいたま市の各種委員会における委員長・委員への就任、各種行事への学部への協力を行っている。イベント開催時等には学生が地域活動を通じて学ぶ機会となっている。
36	浦和大学・浦和大学短期大学部	「北浦和ふれあいまつり」への参加・協力	平成24年度	自治体（行政）	地域団体 (NPO、ボランティア等)		北浦和ふれあいまつり実行委員会からの要請により、11月6日（日）に開催された「北浦和ふれあいまつり」に学生を10名ほど参加をし、バルーンアートや昔遊び等の遊びの支援を行った。また、さいたま市のPRキャラクター「つなが竜ヌゥ」やさいたま市の観光大使「浦和うなこちゃん」の着ぐるみに本学学生が入り、さいたま市のPRに貢献した。
37	浦和大学・浦和大学短期大学部	浦和大学公開講座	平成26年度	自治体（行政）			平成29年度は「音楽のレシピ」「子育て・家族支援ファシリテーター養成講座」を実施
38	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま国際マラソンにおける運営および応援協力	平成27年度	自治体（行政）			さいたま国際マラソン組織委員会からの依頼を受け、46名の学生が市民ランナーへの給水ボランティア、沿道応援としてエイサーの披露と吹奏楽演奏の協力をした。併せて関係車両の駐車や待機場場として駐車場の提供、ランナーや一般市民応援者へのトイレ貸出も行い、大会運営へ貢献をした。
39	浦和大学・浦和大学短期大学部	見沼ソーシャルファーム懇談会	平成28年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			「見沼ソーシャルファーム懇談会」は、見沼地域資源と労働市場を結び付けた新たな見沼のブランド化を目指し、地域活性化に向けた具体策を見出すために平成28年に近隣住民を中心に発足した任意団体で、浦和大学九里総合福祉文化研究所が運営支援を行っている。平成30年度は、大学の公開講座の一環として以下の一般公開を行った。 ・平成30年7月18日（水）第1回見沼ソーシャルワーク会議 基調講演「地域を育てるコミュニティシンクタンク」 「見沼地域のブランド化に向けた問題提起」、「ディスカッション」 ・平成30年11月28日（水）見沼ソーシャルワーク懇談会 講演「美園地区の歴史と文化」、「情報交換」
40	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護の学校 in 埼玉	平成28年度	その他	その他		地域の介護人材の育成するため、埼玉県介護福祉士会と埼玉県介護福祉士養成校連絡協議会が共催し、地域の人々、施設で介護職として既に働いている人々、高校・大学の生徒・学生を対象とする研修事業を行った。本学が開催校で、介護福祉科学科長が実行委員長となり、教員・学生が運営を担った。
41	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「地域の介護力を高める福祉機器」	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		高齢化が世界的に進む中で、福祉機器が内外の企業によって開発されている。これらの機器を活用することで地域の介護力を高めることができる。最新鋭の福祉機器を開発している企業に参加していただき、担当者から福祉機器を説明していただき、公開講座をさいたま市と、さいたま商工会議所の後援を頂いて実施した。
42	浦和大学・浦和大学短期大学部	健康体操教室	平成28年度	その他			本学の教員・学生が指導員及びアシスタントとなり、本学の体育市背うを使って、地域の高齢者約30名に健康維持と介護予防に役立つ運動を教えている。全12回。参加費無料。
43	浦和大学・浦和大学短期大学部	こども学部インターンシップ	平成29年度	産業界（企業等）			企業等における就労体験（インターンシップ）を通して、就職への意識を高めるとともに職場の現状や職業観を養う。本学学生は保育所や幼稚園、福祉施設への就労希望が多く、社会人としての基本姿勢やマナー、職場規律、上司や同僚等へのコミュニケーションを体得するのにインターンシップは有効であると考えられる。なお、実習先については、地元産業界（企業等）を中心に依頼した。
44	浦和大学・浦和大学短期大学部	一日こども大学生	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	地域の小学校1・2年生を対象とした夏休みの自由研究題材となる公開講座を実施。「自然編」「かず・形編」「音楽編」の3講座を開講。
45	浦和大学・浦和大学短期大学部	教育インターンシップ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	正規授業として、さいたま市・所沢市・深谷市教育委員会とインターンシップ覚書を締結し、学校教育学科1年生全員が、地域の学校の放課後活動支援に出向いている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
46	浦和大学・浦和大学短期大学部	イオンモール川口 2017 夏 休み自由研究お助け隊	平成29年度	産業界（企業等）	幼保・小・中・高等学校等		地域企業（川口イオン）川口市 川口イオンにおいて、地域の奨学生を対象にした夏休み自由研究の講座として「ちりめんじゃこの研究」講座を開設。
47	浦和大学・浦和大学短期大学部	子育て・家族支援ファシリテーター養成講座	平成29年度	自治体（行政）			さいたま市の子育て・家族支援の取り組みや、カナダ・ライオンズ大学との提携に基づく 浦和大学の家族支援の取り組みの紹介をしながら、子育て・家族支援のファシリテーターの養成を行う講座を開設。
48	浦和大学・浦和大学短期大学部	音楽のレシピ	平成29年度	その他			さいたま市内在住・勤務者を対象に、大学において、専門家による発生方法・声の響き、声の響きと音楽の関係を実演と解説。100名参加。
49	浦和大学・浦和大学短期大学部	放課後児童クラブを訪問	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			学生が「あいう園美園放課後児童クラブ・あいう園ひふみ放課後児童クラブ」を数回訪問した。
50	浦和大学・浦和大学短期大学部	第1回カワコレ「GOLD FASHION」	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			特定非営利活動法人「健康姿勢管理」の主催で、高齢者モデルさんによるファッションショーの実現を川口市内ショッピングモール・ララガーデン川口に於いて2部構成で開催しました。共催として、着物リメイク教室「繭の夢」さんと、本学こども学部こども学科4年船木ゼミの学生メンバーが参加した。
51	浦和大学・浦和大学短期大学部	「紙芝居 はじめの一步」	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			子どもに紙芝居を見せたい。そのためには「どうやって演じれば良いの?」「どんな紙芝居を選べばよいの?」という疑問に答えながら、乳幼児から小学生までを対象にした年齢別の紙芝居実演を体感し、その基本を楽しく学ぶワークショップを開催。
52	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「「介護ロボット・福祉機器展-人にやさしい福祉機器の可能性-」	平成29年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		地域の介護力が低下し、施設では人手不足が年々深刻化しています。このような状況のなか、人にやさしい福祉機器が普及する可能性を社会に発信することは、福祉の人材を育成する本学の使命の一つです。さいたま市と、さいたま商工会議所の後援を頂いて、介護福祉と社会の技術や将来に関心を持っていらっしゃる地域の方々にご参加いただき、実施されました。
53	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護の学校 in 埼玉	平成29年度	その他	その他		地域の介護人材の育成するため、埼玉県介護福祉士会と埼玉県介護福祉士養成校連絡協議会が共催し、地域の人々、施設で介護職として既に働いている人々、高校・大学の生徒・学生を対象とする研修事業を行った。本年度は会場を埼玉福祉保育専門学校とし、介護福祉科学科長を始め複数の教員が実行委員となり、当日は教員・学生が多く参加した。
54	浦和大学・浦和大学短期大学部	第3回浦和美園まつり&花火大会	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		第3回目を迎えるイベントにおいて、本学も縁日会場のなかで初めて出店をさせていただき、当日運営を行った。 本学の出店内容は、ポッチャ（パラリンピック公式種目）体験やフリスビーを使用したレクリエーション等の体験ブースとした。当日は雨天であったが、一日を通して多くの方に体験していただき、家族連れの方々に好評であった。午前11時から15時過ぎまでの間におよそ800名の方に来場いただいた。 来場者のなかには、本学ぼっけの利用者や卒業生もあり、地域の関わりとしては非常に有意義なイベントであった。
55	浦和大学・浦和大学短期大学部	本学の3ポリシーとそれに基づく教育に対する助言	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	その他		学校教育法施行細則で定められている3つのポリシーについて、さいたま商工会議所に依頼し、点検、確認、意見を頂いている。3つのポリシーとーは、次の内容である。「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）」。
56	浦和大学・浦和大学短期大学部	第4回浦和美園まつり&花火大会	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		第4回目を迎えるイベントにおいて、本学も縁日会場のなかで出店をさせていただき、当日運営を行った。 本学の出店内容は、[環境にやさしいペットボトルリサイクル]として、ペットボトルでの雑貨作りを企画し、午前11時から15時過ぎまでの間におよそ150名の方に来場いただいた。来場者のなかには、本学ぼっけの利用者や卒業生もあり、地域の関わりとしては非常に有意義なイベントであった。
57	浦和大学・浦和大学短期大学部	放課後児童クラブを訪問（学友会サークル マジック同好会）	平成30年度	幼保・小・中・高等学校等			学生が「あいう園美園放課後児童クラブ・あいう園ひふみ放課後児童クラブ」を数回訪問した。
58	浦和大学・浦和大学短期大学部	川口市立飯仲小学校「いいなかフェス」	平成30年度	幼保・小・中・高等学校等			川口市立飯仲小学校学校運営協議会「いいなかフェス」実行委員会が主催する同フェスに参加するため訪問した。
59	浦和大学・浦和大学短期大学部	子どもがつくるまち「第2回ミニ緑区」	平成30年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		さいたま市緑区役所及び区内の小学校と連携を図り、本学において「第2回ミニ緑区」を開催した。当日開催までに、応募した子どもスタッフが計6回のまち会議を行い、どのような「まち」を作るか、議論を重ねていく。その活動を通して、同年齢、異年齢、大学生を中心とする大人スタッフと活発な交流を持ち、皆でまち（ミニ緑区）を築きあげていく。
60	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業	平成30年度	産業界（企業等）	その他		さいたま商工会議所の介護ロボットの開発事業を推進する同協議会に短期大学部介護福祉科学科長松崎と総合福祉学部の田中准教授が委員として参加するとともに、開発を具体的に進めるワーキンググループ会議にも参加した。同事業報告書のとりまとめにも松崎が関わった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
61	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「尊厳のあるケアの可能性」	平成30年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		A I技術と広義のIoT技術の進歩による柔軟な情報処理システムの可能性拡大のなかで、高齢者の尊厳を実現する可能性が高まり、変貌している。三つの施設の取り組み発表から、学んだ。介護福祉科学科長が、基調報告し、コーディネートした。
62	浦和大学・浦和大学短期大学部	本学の3ポリシーとそれに基づく教育に対する助言	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	その他		学校教育法施行細則で定められている3つのポリシーについて、さいたま商工会議所に依頼し、点検、確認、意見を頂いている。3つのポリシーとは、次の内容である。「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）」。
63	浦和大学・浦和大学短期大学部	埼玉県オリパラ月間イベントin戸田	令和元年度	自治体（行政）			東京2020オリンピック・パラリンピックの埼玉県内開催をPRするため、県内各地のイベントにおけるブース出展の企画に参画。本学は2019年8月25日（日）イオンモール北戸田のイベントに参加し、総合福祉学科でのレクリエーションの学びを活かした『スポーツ吹き矢』の体験ブースを展開した。
64	浦和大学・浦和大学短期大学部	「遠隔で結ぶチャレンジランキング大会」	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			コロナ禍の「新しい生活様式」を考慮し、障害者の団体と健常者の団体をリモートで結び、インクルーシブ（みんな一緒）な状況で、チャレンジランキング・ゲーム（ルールが簡単で誰もが気軽に参加できるギネスゲーム）を楽しもう企画、開催した。
65	共栄大学	子ども大学かすかべ	平成30年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。 本年度は新型コロナウイルス対策により中止。
66	共栄大学	共栄大学公開講座	平成30年度	自治体（行政）			開かれた大学を実現するために、春日部市教育委員会と連携し、地域社会の文化の向上を資することを目的として、全3回開講する公開講座。（令和2年度は新型コロナウイルス対策により1回の実施。） 本年度の実施内容は以下のとおり。 「いじめ問題の始まりと歴史～今、子どもたちに何を語りかけるべきなのか～」
67	埼玉医科大学	地域医療連携懇話会	平成22年度	その他			地域の病院との情報交換の場で、隔月第3水曜日に定期的に開催している。
68	埼玉医科大学	ニーズマッチング in 埼玉医科大学	平成27年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		平成27年度から開始したニーズマッチング会の7回目を大学病院で11月にWEBにて実施した。医療現場のニーズ8テーマを参加した40社に提案した。アンケートの結果、92%が満足したとの回答があった。随時マッチングを開始している。
69	埼玉医科大学	毛呂山町との地域連携協定	平成24年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ・本学及び本学短期大学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・毛呂山町振興計画審議会委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町行政改革推進委員会委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町スマートシティ協議会への参加及びまちづくり会社への出資 ・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者支援に係る寄贈品受領 等
70	埼玉医科大学	小中学校教育体験実習	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			医学部1年生が毛呂山町立小中学校に半日2回訪問し、授業見学、交流経験を行い、短時間の保健指導を行っている。
71	埼玉医科大学	オープンイノベーションセミナー & 個別商談会	平成29年度	産業界（企業等）			埼玉りそな銀行が主催するセミナーで、大学病院は7月に総合医療センターは2月に臨床現場のニーズを紹介した。
72	埼玉医科大学	オンライン彩の国ビジネスアリーナ（産学連携）	平成27年度	産業界（企業等）			埼玉県産業振興公社等が主催した展示会にオンライン出展し、ニーズマッチング会やリサーチパークの紹介を紙面にて行った。
73	埼玉医科大学	日高市との地域連携に関する基本協定	平成25年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ・本学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・介護予防効果測定・普及啓発事業委託業務への取組 ・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・日高市行政経営審議会委員として本学職員の派遣 ・自殺対策推進連絡会委員として本学職員の派遣 等
74	埼玉医科大学	株式会社丸広百貨店との地域連携に関する協定	平成25年度	産業界（企業等）			・新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業（丸広百貨店エンジョイ大学セミナー（年4回開催）講師として本学教員の派遣等）を一時休止中
75	埼玉医科大学	株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定	平成28年度	産業界（企業等）			・新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業（埼玉西武ライオンズ野球観戦招待引換券の本学学生への配布等）を一時休止中
76	埼玉医科大学	飯能市との連携・協力に関する基本協定	平成30年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・地域包括ケアシステム構築のための社会資本の活用に関する共同研究 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に係る同市独自のガイドラインの監修 ・市内公立小・中学校への学校医（耳鼻咽喉科）の派遣 ・森林文化都市宣言に基づく森林の利活用に関する事業推進に伴う当該研究を行っている本学教員の紹介 等
77	埼玉医科大学	川越市一般介護予防事業評価事業の業務委託	平成28年度	自治体（行政）			・川越市が行っている介護予防事業の効果の検証

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
78	埼玉医科大学	株式会社埼玉りそな銀行との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	産業界（企業等）			・本学リサーチパークの活用促進に関するビジネスマッチングの検討 等
79	埼玉医科大学	越生町との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	自治体（行政）			・健康づくり検診への医師等の派遣 等
80	埼玉工業大学	出前授業・模擬授業	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			教育・研究の成果を地域社会に還元すべく、高等学校・地域社会・地元産業界と連携強化を努めている。本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が直接高等学校に出向き講義を行う。
81	埼玉工業大学	高大連携事業 大学見学		幼保・小・中・高等学校等			大学教育・高校教育の活性化を図るため、協定を締結した連携校の大学見学や体験授業等を行う。
82	埼玉工業大学	高大連携事業 出前授業		幼保・小・中・高等学校等			本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が連携校に出向き講義を行う。
83	埼玉工業大学	2020年度文部科学省「多様な通信環境に関する実証」		自治体（行政）	産業界（企業等）		文科省プロジェクトとしてNTT東日本と連携し、吉川市旭小学校と埼玉工業大学をSINETで接続した遠隔授業の実証。 【令和2年度】2020年12月8日
84	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 講演会		産業界（企業等）			講演タイトル「最近の宇宙開発トピック ～ロケットエンジンを中心に～」 【令和2年度】2021年03月10日---実施予定
85	埼玉工業大学	渋沢栄一論語の里循環バス(自動運転バスでの営業運転)		産業界（企業等）	自治体（行政）		深谷市及び深谷観光バスとの連携で、県内初の自動運転バスでの営業運転 【令和2年度】2021年2月16日～2022年1月10日
86	埼玉工業大学	地域連携事業（1）		自治体（行政）	産業界（企業等）		JR高崎線 岡部駅「おかべ希望が岡公園イルミネーション2020」 【令和2年度】設置2020年12月1日（火）～2021年1月31日（日）
87	埼玉工業大学	地域連携事業（2）		自治体（行政）	産業界（企業等）		深谷市岡部公民館「講演会『凡夫（ぼんぶ）の生き方』講演者：松川聖業理事長」 【令和2年度】2021年3月9日（火）
88	芝浦工業大学	学生プロジェクト	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	幼保・小・中・高等学校等	SDGs学生委員会- 綾いと 低炭素化・省資源化・国際交流などを促進し、SDGsに対して大きく貢献する大学を目指す。様々な地域のSDGsに向けた活動に協力するとともに、それぞれの組織をつなぐ役割を担う。また、協働をきっかけに連携先の方々にSDGsについて本団体を通じて知ってもらおう。 <活動実績> 10月4日～18日 アースデイ川越in昭和の街2020「オンラインであつまれ！」 がしみやコミュニティプロジェクト 大宮キャンパス周辺の東大宮地区（がしみや）を対象地域とし、住民のニーズに応える形でサポートを行いながら地域コミュニティ強化に向けた活動を行う。 <活動実績> 見沼はるかぜキッチン(多世代交流食堂)でのオンライン・レクリエーション ひがしおみやぐらし（地域情報誌）での活動発信
89	芝浦工業大学	オンライン埼玉県彩の国ビジネスアリーナ/産学連携フェア	平成24年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）、3月開催の本学主催イベントを紹介し、県内企業との技術相談・共同研究推進及びイベントへの勧誘をオンラインで実施。（R2年度）
90	芝浦工業大学	地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	文科省からの補助金交付は平成29年度で終了したが、大学の自己資金にて活動継続。地域との連携を更に強化して、『まちづくり』と『ものづくり』を通じた教育・研究・社会貢献を実施。（R2年度）
91	芝浦工業大学	さいたま市高度ものづくり人材育成支援事業	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ものづくり企業の製品化を支援するために、プロトタイプング手法を活用した実践的人材育成プログラムを、地域企業の若手技術者に対して実施。（R2年度）
92	芝浦工業大学	埼玉県との連携授業	平成26年度	自治体（行政）			土木工学科、環境システム学科において、埼玉県総合技術センターと連携し、県土整備部や都市整備部の職員による連携授業を実施。（R2年度）
93	芝浦工業大学	さいたま市シニア向け運動教室	平成27年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	例年は大学の運動施設を生かして大学近隣のシニア向け運動教室を実施しているが、今年度はオンラインで試行。（R2年度）
94	芝浦工業大学	課題解決型授業への課題提供	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉県との連携的包括協定に基づき埼玉県から、さいたま市とのイノベーション協定に基づきさいたま市から、及び埼玉県内・さいたま市内企業様から課題解決型授業への課題提供を頂いた（大学院PBL授業、大宮グローバルPBL等をオンラインで実施）。（R2年度）
95	芝浦工業大学	埼玉県産学連携ネットワーク会議	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ネットワーク会議の開催ができなかったため、県内企業を対象に研究シーズ紹介等をオンラインで実施。（R2年度）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
96	芝浦工業大学	さいたま市主催 大学による地域の課題解決・活性化支援事業補助金	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		「遠隔型運動教室の試行」で採択を受け、地域活性化活動を実施。（R2年度）
97	芝浦工業大学	（一社）さいしんコラボ産学官主催 中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会	平成30年度	産業界（企業等）			中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会in埼玉に、本学から1チームが参加し、敢闘賞を受賞。（R2年度）
98	芝浦工業大学	さいたま市人材高度化タスクフォース事業	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		市内企業と協力して、さいたま市から補助金を獲得し、共同研究を通して企業若手と学生の人材育成を実施。（R2年度）
99	芝浦工業大学	「知と地の創造拠点」フォーラム（同時開催：COC学生成果報告会）	平成30年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	昨年度に引き続き、本学の研究ブランディングと地域連携活動に焦点を当て、産学・地域連携の発展に向けた情報発信を目的に開催予定。（R2年度）
100	芝浦工業大学	さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験	R1年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		昨年度に続き、産学連携PBLの取組の一つとして、校舎内にシェアサイクルポートの設置と併せて、シェアサイクルの有効性や課題などの検討及び提案。（R2年度）
101	芝浦工業大学	埼玉県先端産業有識者会議委員「埼玉県先端産業創造プロジェクト」関連	R2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		大学の知を生かして、有識者会議に参画（R2年度）
102	芝浦工業大学	埼玉県科学技術・イノベーション会議委員	R2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		大学の知を生かして、有識者会議に参画（R2年度）
103	芝浦工業大学	公開講座（オープンテクノカレッジ）	平成3年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）		芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、幅広い世代の方を対象とした公開講座を実施している。以下は今年度開講講座の抜粋。 ・「都市防災講座-地球温暖化による世界の洪水リスクの変化と対策-」 ・「マッキー先生の和算教室～先人の知恵（数学）を楽しく紐解いてみましょう！～」 ・「今日は楽しく！鉄道満喫」 ・「魂の管楽器、開発・製造ストーリー」
104	芝浦工業大学	公開講座（オープンテクノキッズ）	平成3年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、小学生の子どもを対象とした公開講座を実施している。以下は今年度開講講座の抜粋。 ・「おうちで工作教室～大学生とジェルキャンドルを作ろう～」 ・「SDGsを学ぶ教室～地球を守るため、クイズに挑戦してモンスターを倒そう～」 ・「親子で学ぶ測量実習～21世紀の伊能忠敬になってみる！～」
105	十文字学園女子大学	地域活動（ボランティア） Youth Volunteer部：（ユースボランティア部）	平成8年度	自治体（行政）			日本赤十字社東京支部学生奉仕団に加盟しており、そこを拠点として様々な活動を行っている。毎月1回障害者の方々と出かけたりレクリエーションをしたり、定期的にボランティア活動を行っている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、課外活動が制限された。
106	十文字学園女子大学	新座市内大学	平成9年度	自治体（行政）			新座市教育委員会と本学の共催により、3つの公開講座をオンライン形式で開催。 【11/3（火・祝）350名、11/7（土）140名、11/28（土）100名】
107	十文字学園女子大学	インターンシップ（大学）	平成11年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会とする。 実施期間：夏季休暇中（前期）または春季休暇中（後期）を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。 なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防を優先し、対象企業の制限を行った。 参加人数：1名
108	十文字学園女子大学	にいがプラスカレッジ「にいがデザインコース＜入門編＞＜実践編＞」	平成12年度	自治体（行政）			新座市・新座市教育委員会主催。市内3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）が2学部3学科を開学し、市内在住もしくは在勤・在学の18歳以上を対象に講義を実施。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開講中止。 ※令和2年度より、名称が変更となった。（旧「新座市民総合大学」）
109	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			参加大学で開講されている科目を参加大学に所属する学生に開放し、一定の条件を満たせば、「単位認定」を行う。 費用：（受け入れ大学一校あたり）登録料2,000円 受け入れ：0名、送り出し：1名 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講生の受入を中止した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
110	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大 (大学・短大間連携)			生涯学習、地域社会への貢献を目的として、彩の国大学コンソーシアム参加15大学のうち、10大学が公開講座を実施。今年度のテーマは「さいたま遊学2020～知的、快適生活のススメ～」(会場：ウェスタ川越) 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開講中止。
111	十文字学園女子大学	リカレント教育	平成20年度	自治体(行政)			埼玉県内や近隣の大学と協力し、団塊世代や高齢者の方々を対象に、大学の授業を開放する。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講生の受入を中止した。 前期：0名(32名の申込があった後、中止を決定)、後期：0名
112	十文字学園女子大学	赤い羽根共同募金	平成21年度	自治体(行政)			新座市社会福祉協議会の依頼を受けて学内及び街頭募金活動を行う。 10月1日(木)～10月30日(金)に学内募金箱の設置 10月7日(水)に新座駅前での本学学生による街頭募金活動 (募金活動合計) 24,733円
113	十文字学園女子大学	彩の国いきがい大学入間学園「若い世代との交流」	平成22年度	自治体(行政)			高齢者の学習の場として開校。社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして活躍することを目的とする。 【平成25年】11月20日(火)10:40～16:10 受講生数86名 【平成26年】今年度は本学にて開催せず。 【平成27年】今年度は本学にて開催せず。 【平成28年】今年度は本学にて開催せず。 【平成29年】今年度は本学にて開催せず。 【平成30年】今年度は本学にて開催せず。 【令和元年】今年度は本学にて開催せず。 【令和2年】今年度は本学にて開催せず。
114	十文字学園女子大学	子ども大学にいざ	平成22年度	自治体(行政)			主催：子ども大学にいざ実行委員会(新座市教育委員会・雑木の会・十文字学園女子大学) 対象は小学校4年～6年生。大学教員や地域の方を講師に講義を行い、参加者には修了証を発行。 全1回(2/27) 定員30名 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン(Zoom)形式で開校した。
115	十文字学園女子大学	埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 公開講座	平成22年度	自治体(行政)			学ぶ喜びとふれあいの輪を県内各地に広めるため、平成22年度より「埼玉まなびいプロジェクト」を県が実施している。 本学では公開講座のいくつかを「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」として開催しており、令和2年度は3講座をオンライン形式で開催した。 【11/3(火・祝) 350名、11/7(土) 140名、11/28(土) 100名】
116	十文字学園女子大学	ふるさと支援隊	平成22年度	自治体(行政)			埼玉県内の中山間地域における、高齢化や過疎化の進行により農林業や地域活動の維持が困難な地域に対して、大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、若い感性や専門知識を活かして中山間地域に活力をもたらす支援をする。 令和2年度は<皆野町金沢地区>の1地区において活動。
117	十文字学園女子大学	彩の国ロードサポート	平成24年度	自治体(行政)			彩の国ロードサポート団体「ゾウキリンくらぶ」による活動。ボランティアで清掃美化活動を行う住民団体等を道路のサポート団体として認定し、快適で美しい道路環境づくりを推進する。担当区域：川越街道・恵山通り 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、課外活動が制限された。
118	十文字学園女子大学	緑の募金	平成25年度	自治体(行政)			公益社団法人埼玉県緑化推進委員会の依頼を受けて募金活動を行う。 10月1日(木)～10月30日(金)、学内に募金箱を設置。 (募金活動合計) 275円 令和2年度4～5月(春季)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため学内入構禁止期間につき、実施せず。
119	十文字学園女子大学	新座ひまわりプロジェクト	平成25年度	自治体(行政)			東日本大震災により福島県のNPO法人「シャローム」のひまわり油精製事業が運営困難となった。これを支援する活動として、ひまわりを里親として栽培し、とれた種を送り返し、それを基にひまわり油を製造してもらおうという復興支援プロジェクトに参加。ひまわり油の販売で得た収益は福島県内の子ども達の保養プログラムに利用される。 令和2年度は参加せず。
120	十文字学園女子大学	子ども大学しき	平成26年度	自治体(行政)			主催：子ども大学しき実行委員会(志木市教育委員会・NPO法人アンサーズネット・十文字学園女子大学) 対象は小学校4年～6年生。大学教員や地域の方を講師に講義を行い、参加者には修了証を発行。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開校中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
121	十文字学園女子大学	ふるさとにいぎ♣オータムコンサート	平成27年度	自治体（行政）			新座市教育委員会と本学の共催により、市民を対象としたコンサートを平成27年度から毎年開催している。新座市の施設「ふるさと新座館」ホールにあるスタンウェイ・ピアノを活用し、教員とゲストによる演奏や、学生による新座をテーマにした演目（朗読と歌）などを披露。地域の魅力を発信するとともに、公共ホールの活性化を目的としている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止。
122	十文字学園女子大学	株式会社西武ライオンズとの連携事業	平成28年度	産業界（企業等）			（株）西武ライオンズとの連携協力に関する協定に基づき、以下の連携事業を行っている。 ・埼玉西武ライオンズ野球観戦招待引換券の本学学生への配布 ・チャリティイベントボランティアとして本学学生の派遣 ・本学のゼミや授業と連携したイベントの開催 等 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これらの事業が中止となった。
123	十文字学園女子大学	ほっとカフェ（高齢者と介護者のためのカフェ）	平成28年度	自治体（行政）			地域の方たちの交流の場、また専門職による介護などの相談の場として、年2回のペースで開催。本学教職員と学生のほか、地域の専門職や民生委員、町内会の方と共同で運営しており、健康に関する講話、体操、脳トレ、骨密度測定などを実施している。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止。
124	十文字学園女子大学	大江戸新座まつり	平成30年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		新座市の「大江戸新座まつり」の阿波踊りに、学生が「十文字女子大連」として参加している。そのほか、給水スタッフのボランティアとして学生数名が活動する。 あわせて「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」とも連携し、各大学の学生・教職員が当日の運営をサポート。うち学生数名は「十文字女子大連」の阿波踊りにも参加する。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止。
125	十文字学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の20大学・18自治体で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、入試広報活動、FD・SD、防災訓練、就活支援、地域との連携事業（イベント等）に取り組んでいる。
126	淑徳大学	インターンシップ	平成10年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	自治体（行政）	在学中の就業体験を通じて社会や企業・団体を知るだけでなく、自分の適性や働くことの意味を理解する機会であり、自分探しや就職活動に生かしている。
127	淑徳大学	文京学院大学・淑徳大学共催公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			両大学は知的資源、人的資源ならびに施設面において協力、交流し、地元社会において公開講座を共同で開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供することを目的としている。 （令和2年度内容） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
128	淑徳大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成19年度	自治体（行政）			県内在住の高齢者や団塊の世代の方に対し、授業科目の一部を受講できるように開放している。
129	淑徳大学	所沢市大学連携共催セミナー	平成22年度	自治体（行政）			所沢市教育委員会と近隣大学の連携により、専門的かつ学術的な知識を学ぶ機会を提供し、市民の高度化、多様化する学習に応えるため開催している。 （令和2年度内容） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
130	淑徳大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 （令和2年度内容） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
131	淑徳大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的としている。 （令和2年度内容） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
132	淑徳大学	子ども大学みよし	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 （令和2年度内容） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
133	淑徳大学	夏季淑徳教師養成塾	平成25年度	自治体（行政）	小学校		子ども達とふれあう楽しさや指導する難しさに気づき、教職を真剣に目指す意識を強固にすることを目的としたボランティア活動であり、夏季休暇期間中に教育連携先自治体等の要請を受けて、児童の宿題や個別学習の支援を行う。
134	淑徳大学	子育て支援事業	平成25年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		教員・保育士を目指す学生のボランティア活動を通じた実践の場として、学内外（保育園、幼稚園、児童館、自治体の施設等）での乳幼児を対象とした公演やふれあい活動を実施している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
135	淑徳大学	西みずほ台商店会との協働事業	平成26年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			西みずほ台商店会への学生派遣や商店会マップ作り、みずほ台祭りにアドバイザー的存在として関わり、地域活性化を図る。 (令和2年度内容) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
136	淑徳大学	鶴瀬西口商店会との協働事業	平成26年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			教員と学生が「鶴瀬よさこい祭り」の実行委員会委員となり、祭りの運営に関わっている。 (令和2年度内容) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
137	淑徳大学	フレンドシップ事業	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大 (大学・短大間連携)		教員の養成段階において学生が種々の体験活動等を通して子ども達と触れ合い、子ども達の気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を習得することを目的とした事業で、近隣自治体の行事へのボランティア参加要請により、地域社会との連携強化を図っている。
138	城西大学	子ども大学にしているま	平成24年度	自治体（行政）	地域団体 (NPO、ボランティア等)	大学・短大 (大学・短大間連携)	子どもの学ぶ力や生きる力をはぐぐみ、地域で地域の子どもの育てるしくみをつくる。 なお2020年度については、新型コロナウイルス感染症予防の観点により、開講を中止・募集を延期とした。次年度に向けて実行委員会にて検討を継続している。
139	城西大学	埼玉県事業「大学の開放授業講座（リカレント教育）」	平成19年度	自治体（行政）			県と大学が協力して、県内在住者の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放する。 なお2020年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施することができなかった。
140	城西大学	坂戸市との連携協力	平成20年度	自治体（行政）			連携協力のもと、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。
141	城西大学	公開講座	昭和57年度	自治体（行政）			教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講しました。
142	城西大学	インターンシップ		地域団体 (NPO、ボランティア等)	産業界（企業等）	自治体（行政）	自治体や企業のほか学校での授業補助の「学生インターンシップ」も実施。 なお2020年度の影響で、企業の実施のみとなり、自治体ならびに学生インターンシップは実施することができなかった。
143	城西大学	高麗川プロジェクト	平成24年度	自治体（行政）	地域団体 (NPO、ボランティア等)		人間教育、国際教育、地域連携をキーワードとする活動を推進する重要なプログラムとして「高麗川プロジェクト」を策定しました。このプロジェクトは、学生のアイデアに基づく高麗川に関わる自主的な活動を、これまでの活動と合わせて、「高麗川プロジェクト」と位置づけて支援し、それらをつなげることで、学生と地域の方たち、教職員が一体となり、高麗川をふるさとの川として誇りに思い、この地域に世代を超えて伝わる自然環境の再生活動やエコ活動への関心を高め、地域の活性化につなげることを目指したものです。医療栄養学科の医療栄養学概論演習で、高麗川の美化活動などを体験した。
144	城西大学	坂戸市住宅団地にぎわい再生事業	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	大学の授業、課外活動その他周辺地域と連携した活動を地域住民と協働して行う。様々な取り組みを通じて、地域住民及び学生等が自由に活動できる場を提供する。
145	城西大学	埼玉県川の国応援団	平成29年度	自治体（行政）			「川の国埼玉」の実現に向けた県民による川の再生活動。高麗川多和目地区の美化活動と自然環境の定点観察並びに情報発信を行なった。
146	城西大学	彩の国ネットワーク	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	「テロを許さない街づくり」の確立に向け官民一体となった効果的なテロ対策の推進

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
147	城西大学	坂戸・夏よさこい AIカメラの活用およびイベント経済波及効果ツールを使った街づくり「目指せ！経済波及効果一億円」	平成30年度	埼玉県	坂戸市北口商店街		坂戸・夏よさこい実行委員会が掲げる「経済波及効果一億円」に関し、経済波及効果の算出に協力した。経営学部の「まちづくり」受講生などのべ350名が、来場者にアンケートを行い、観光客数や観光客1人当たりの消費額など算出に必要なデータを収集する。そのデータを蛭川簿記塾の学生が算出・分析し、経済波及効果を算出し、主催者や出店者に消費支出の増加を促すためのアドバイスを行う。さらに今年度は、AIカメラで撮影した画像をもとに、イベント参加者を推測し、クラウド上に登録してある分析ツールと連動して、経済波及効果を算出する。算出された経済波及効果は、会場2か所に設置されたサイネージに表示され、さらに一定時間ごとに参加者に伝達し、イベント実施に伴う開催効果を高める。坂戸・夏よさこいでは、イベント開催前に経済波及効果の目標値を1億円と定め、開催後に算出する実際の経済波及効果との差分から効果や課題を可視化し、今後の商店街の活性化に活かしていく。なお、経済波及効果の算出にあたっては、埼玉県産業連関表による経済波及効果分析ツール（県統計課が作成）を使用する。なお2020年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で「坂戸・夏よさこい」自体が中止となったため、実施することができなかった。
148	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「緩和ケアIPW研修会」	平成30年度	埼玉県	埼玉県内職能団体	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学	模擬患者を活用したチーム活動を通して、緩和ケアにおける「チーム形成」、「課題解決」、「地域連携」のプロセスを体験し、より良い緩和ケアのための連携実践（IPW）に繋がる「連携力」を育成することを主な目的とする。また、今回の研修会は、オンラインによる遠隔で実施することから、「オンラインによる遠隔」と「対面」の「やりとり（連携）」の違いについても考える機会とする。
149	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「IPW実習」	平成25年度	埼玉県（施設等）	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学		彩の国連携力育成プロジェクトで実施運営している彩の国連科目の一つとして、IPW実習を実施している。今年度は埼玉県内の各施設（病院、高齢者施設、障がい者施設等）のペーパーペイシエント（5事例）を用いて、利用者及び患者を対象に専門分野の異なる4大学の学生（埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学）が、オンラインにて対象者の支援計画を作成することで、チーム形成のプロセスや多職種による連携を学ぶ。オリエンテーション2日間、実習3日間、全体報告会が1日の、合計6日間の実習である。
150	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「IPW演習（緩和医療学）」	平成25年度	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学			模擬患者を活用し、「がん終末期の患者の、身体的・精神的苦痛を和らげるにはどうしたらいいか」「患者の家族のフォローはどうすればいいのかわか」4大学から異なる分野（医学、理学療法、生活環境デザイン、薬学、医療栄養）の学生が今年度はオンラインにて集まり、連携してよりよいケアプランを考える。
151	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			大学相互の協力交流を通じ、既存の知的資源と人的資源の活用可能性を社会に広報し、学生や社会人等にとって価値のある学修活動の場を広く提供する。近隣の施設において、彩の国大学コンソーシアムに加盟している1大学1講座を実施している。2020年度は、コロナ禍のため、実施は見送られた。
152	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による単位互換	平成19年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムへ加盟大学の内、10大学が単位互換に参加している。希望する学生は履修したい大学へ2,000円の登録料を支払うことで、科目数には制限は無い。
153	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による教職員研修会	平成19年度	大学・短大（大学・短大間連携）			協定に加盟する大学対象に、当番校の特色を生かして交代で年数回実施。城西大学は、今年度は幹事校を担当。2020年度はコロナ禍ということもあったため、対面での実施は取りやめ、担当校の文京学院大学様、埼玉医科大学様へ、Zoomを用いオンラインで対応いただいた。
154	城西大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
155	城西大学	ミャンマーホストタウンプロジェクト	令和元年度	自治体（行政）			2019年度に鶴ヶ島市との相互連携協力に関する協定書に基づき、ミャンマーからのオリンピック選手団（柔道選手5名、陸上競技選手4名、コーチ各1名、合計11名）の事前キャンプ受け入れで、本学からは施設の貸出や、学内の専門家からの指導など連携事業を実施した。また、本学医療栄養学科教員による、スポーツと栄養という観点からの講座や、同学科の学生たちのサポートも交えながら、アスリート向けの昼食を学内食堂にて提供した。2020年度はコロナ禍により、東京2020オリンピック・パラリンピックが延期となったため、支援事業は行われず、相互の情報交換等にとどまった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
156	城西大学	越生町との連携協力	令和元年度	自治体（行政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 2019年度は、越生町内の中学校と部活動の連携を大学の施設を利用して実施した。今年度は男子駅伝部と陸上競技部の2団体で実施した。発展途上である中学生の技術向上への寄与や学生・生徒の交流を通じて相互のモチベーション向上につながった。 2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により部活動の連携事業は実施できなかった。
157	城西大学	ときがわ町との連携協力	令和元年度	自治体（行政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 2019年度は、比企都市給食センター連絡協議会 所長・栄養士合同研修会において、薬学部医療栄養学科の教員が講演および意見交換を行った。
158	女子栄養大学	鴻巣市でエディブルフラワーを使用したメニュー開発	令和1年度	自治体（行政）			連携協定を締結している日本薬科大学との「薬食同源プロジェクト」の一環として、両大学の学生考案によるエディブルフラワー（食用花）を使用したメニューを期間限定で提供。「花の町 鴻巣市」を食用花で盛り上げようとの思いから共同でメニュー開発を行った。
159	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			「昭和100年大学」元気健康学部・健康のための教養学科の講師依頼があり、上福岡公民館で「高齢者の栄養学」について、講義を行った。60代、70代の方を中心に約60名が参加。
160	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			富士見市主催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業「セルビア語&セルビア料理教室」がふじみ野駅前「ピアザ☆ふじみ」で開催され、調理補助として協力。市内在住の20名が参加。セルビア共和国の家庭料理4品を作り、交流を図った。
161	女子栄養大学	鳩山町との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			鳩山町食生活改善推進員21名が研修のため坂戸キャンパスを来訪。連携事業の一つとして、「講話・学食体験」を実施。
162	女子栄養大学	埼玉縣信用金庫主催「さいしん夏休みキッズスクール」に参加	令和1年度	産業界（企業等）			埼玉縣信用金庫本店（熊谷市）で開催された「さいしん夏休みキッズスクール」において、ものづくり体験の授業「マジパン細工」の講師を務めた。ものづくり体験等を通じて、みんなで楽しくお金に関わる知識を学ぶことを目的とした同金庫主催の企画に参加するのは、今年で3回目。
163	女子栄養大学	川越市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			川越市中央公民館にて、市内の小学生が参加した「こどもクッキング教室」に協力。
164	女子栄養大学	埼玉県産農畜産物を使用したメニュー開発	令和1年度	自治体（行政）			埼玉県・全国農業協同組合連合会埼玉県本部・公益財団法人埼玉県学校給食会との協力により、県産農畜産物を使用した3食餃子「豚de野彩（とんでやさい）餃子」を開発。県産農畜産物の魅力を伝えるとともに消費拡大を目的としたもので、食文化栄養学科学生が参加し、考案。
165	女子栄養大学	富士見市オリパラ1年前イベントに協力	令和1年度	自治体（行政）			富士見市でオリンピック・パラリンピック1年前イベントが開催され、市のホストタウンとして登録されたセルビア共和国のPRとして、セルビア料理の試食提供と販売等を行った。
166	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			ふじみ野市の開催する高齢者向けの学びの場である「昭和100年大学」にて元気健康学部・健康のための教養学科「高齢者の栄養学」を開催。「65歳からの体重コントロールと食生活」について、講義を行った。
167	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			春日部市保健センターで市民に向けた「体験型栄養セミナー ～バランス満点お弁当～」が開催され、「3・1・2弁当箱法」の講義と演習を行った。また、バランス満点弁当のメニューも監修した。
168	女子栄養大学	埼玉県「フードロス対策講座」に参加協力	令和1年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		「そごう大宮店 Eco Weeks」における「フードロス対策講座」に参加協力。実演を交え、フードロスを削減するレシピ、調理方法、食材の保存方法を紹介。
169	女子栄養大学	富士見市ふるさと祭りに参加	令和1年度	自治体（行政）			富士見市ふるさと祭りの富士見市ブースにおいて、市のホストタウンであるセルビア共和国のPRとしてセルビア共和国の料理、サワーチェリーケーキ・ラズベリーケーキ・ココナッツボール・セルビアクロッケの販売を行った。
170	女子栄養大学	三芳町産「みよし野菜」を使用したレシピの試食会	令和1年度	自治体（行政）			三芳町産の「みよし野菜」を使用した「癒しのレシピ」の試食会を行った。「みよし野菜」の周知やブランド化を目的に活動している「みよし野菜ブランド化推進研究会」と「食料・地域経済学研究室」のゼミ生が協力して作りあげた。学生たちは、同町の圃場や野菜販売施設を実際に見学し、農家や町の人たちの意見を取り入れながら、ハヤシライス、季節の野菜の天ぷら、米粉のピザをメインとした3つのレシピを考案した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
171	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			・春日部市民文化会館で開催された「埼玉葛地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会」で「学校教育における食育のあり方」について講演を行った。埼玉葛地区教育委員会連合会会員、同地区内の指導主事・事務局職員、北埼玉地区教育委員会連合会所属教育長の約90名が参加。 ・春日部市中央公民館講堂で開催された「保育講座」で、「子どもの味覚と食育～子どもにとっての食の豊かさを考える～」について講演を行った。市内保育施設に勤務する保育士の方々を中心に約200名が参加。
172	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			富士見市健康増進センターが主催となり、ふじみ野駅前「ピアザ☆ふじみ」にて「親子de簡単手作りおやつ教室～クリスマスのお菓子を作ろう♪～」と「手作りおせち料理教室」の2つの講座が開催され、講師として参加。
173	女子栄養大学	国立女性教育会館 創立記念週間イベントに協力	令和1年度	産業界（企業等）			連携先である国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）の創立記念週間イベント（NWECAニバーサリーウィーク）が開催され、本学とコラボしたイベントが開催された。 ①館内レストランにて本学カフェテリア監修のランチを提供 ②館内売店にて「プランタン」の焼き菓子・クッキーを販売 ③ミニ講義「成長期に食べたいおやつは？」の開催
174	女子栄養大学	「川越市場まつり」に出展	令和1年度	産業界（企業等）			連携先である川越総合卸売市場株式会社が主催する「川越市場まつり」に出展。焼き菓子等の販売、料検5級問題チャレンジを行う等の学園の広報活動を行った。
175	女子栄養大学	鶴ヶ島市チャレンジショップで学生考案メニューを提供	令和1年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市チャレンジショップ「つるカフェ」にて、期間限定の地域振興カフェ「IRODORI CAFÉ」をオープンし、秩父出身の食文化栄養学科4年生が鶴ヶ島市と秩父地域のコラボランチプレートを提供した。
176	女子栄養大学	三郷市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			三郷市内小学校での「令和元年度埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会」において「教育と食育の関わり」について講演
177	女子栄養大学	鳩山町との連携事業 はとやま食エコレシコンテスト	令和2年度	自治体（行政）			鳩山町主催、鳩山町教育委員会共催の「はとやま食エコレシコンテスト2020」の審査員及び食エコレシ集の監修に調理学研究室(大学)の教員が協力。
178	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 食品ロス削減レシピの作成	令和2年度	自治体（行政）			おうちで実践できる食品ロス削減レシピの作成に、調理学研究室（短大）の教員が協力。レシピは、4つのテーマ（「時短」・「家事負担軽減」・「食費削減」・「健康」）に沿って作成。食品ロス削減月間の10月に埼玉県のホームページでレシピを公開。
179	女子栄養大学	埼玉県庁×そごう大宮店 【おうちでできるフードロス対策レシピ】	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		おうちでできるフードロス対策レシピの作成に、調理学研究室（短大）の教員が協力。食品ロス削減月間の10月、そごう大宮店のホームページで、レシピを公開。
180	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 「彩の国学校給食研究大会」	令和2年度	自治体（行政）			埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、（公財）埼玉県学校給食会が主催した「彩の国学校給食研究大会」で、「教育と食育との関わり」について、講演。学校給食担当者や学校給食共同調理場の職員、公立小・中・特別支援学校・学校給食実施高等学校の教職員、約150名が参加。
181	女子栄養大学	埼玉県・一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会主催 令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医科学講習会	令和2年度	自治体（行政）			令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医科学講習会において、栄養生理学研究室（大学）の教員が「アスリートの栄養・食事」の演題で、90分間、オンライン上で講演。
182	女子栄養大学	三芳町との連携事業 三芳産の野菜たっぷり弁当を考案	令和2年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携し、地元野菜をふんだんに使ったお弁当づくりに食料・地域経済学研究室の教員が指導のもと、学生が協力。お弁当開発のコンセプトは、「おいしいみよし野菜をたくさんの人に食べてほしい!」。2種類（主菜が2つのガッツリ系弁当&主菜が一つのヘルシー系弁当）考案。販売日・数量限定で、三芳町文化会館内「福祉喫茶ハーモニー」で販売された。
183	女子栄養大学	富士見市との連携事業 学校給食の新メニューの考案	令和2年度	自治体（行政）			不足しがちな栄養素をおいしく摂るため、学校給食の新メニューの作成に、給食・栄養管理研究室の教員が指導のもと、学生が協力。新メニューは、特に不足しがちな鉄分の補給を目的に、鉄分を多く含むレバーチップや小松菜を使用。市内の小・中学校で新メニューが提供された当日は、メニューを考案した学生も調理を手伝った。
184	女子栄養大学	富士見市との連携事業 食育動画講座「パン作り教室」	令和2年度	自治体（行政）			富士見市食育推進事業「パン作り教室」の動画講座で、専門学校の教員が講師を務めた。対面での教室開催予定から市民（申込制）が動画（富士見市撮影・編集）を視聴できる形へと変更しての実施。
185	女子栄養大学	三郷市との連携事業 簡単健康乳幼児レシピと調理動画の作成に協力	令和2年度	自治体（行政）			乳幼児の食生活の重要性を考え、保護者が手軽で簡単に作ることができる健康な乳幼児向けのレシピと調理の動画の作成に、給食システム研究室（大学）の教員指導のもと、学生がレシピ考案、離乳食の試作、撮影等に取り組んだ。レシピと調理の動画は、三郷市のホームページで公開。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
186	女子栄養大学	(株)ベルクとの連携事業 栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを監修	令和2年度		産業界（企業等）		(株)ベルクが製造・販売する栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修。
187	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会との連携事業	令和2年度		産業界（企業等）		コープデリ生活協同組合連合会の販売する健康をテーマにした「からだ健やかシリーズ」のお弁当メニューを監修
188	女子栄養大学	ホンダ開発(株)との取組 同社が運営する社員食堂で本学監修健康フェアを実施	令和2年度		産業界（企業等）		本学園学生食堂の管理栄養士が監修した学食メニューを、ホンダ開発(株)が運営する社員食堂で、提供する健康フェア「からだよろこぶ健康ごはん」を期間限定で実施。
189	女子栄養大学	(株)国太楼との取組 同社の製品2種を監修	令和2年度		産業界（企業等）		(株)国太楼の製品「GABA配合ポット用掛川茶」及び「GABA配合ポット用ルイボスティー」の2種を栄養科学研究所が監修。量販店及びネットで販売予定。
190	駿河台大学	彩・ふるさと喜樂学	平成15年度	自治体（行政）			地域の「知の核」として、地域社会の発展に貢献するため、生涯学習の機会を提供している。本講座は、地元の飯能市をより深く知るための地域学の講座「飯能学」としてスタートし、その後、対象を埼玉県西部（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）に広げた。毎年様々なテーマを取り上げ、本学教員に加えて、近隣市の教育委員会の協力のもと地域のことをお話できる方や地域で活躍している識者・専門家の方などに講師をお願いしている。前期7回、後期7回。 令和2年度はコロナ禍のため中止。
191	駿河台大学	市民の大学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	平成10年度	自治体（行政）			本学教員や各分野の識者・専門家を講師に迎え、毎年4テーマをそれぞれ4回連続の講座で取り上げている。毎年1テーマは、飯能市教育委員会から推薦された講師で講座を展開している。16回。 令和2年度はコロナ禍のため中止。
192	駿河台大学	森林環境プロジェクト（「駿大の森」百年協定に基づく飯能活性化）	平成18年度	自治体（行政）			飯能市と森林環境プロジェクトの実施に関する協定を平成18年度に締結した。今後100年間を目途として、市と大学が市有林における森林育成活動を通して、森林の維持・保全、森林文化の理解・振興、地域活性化を実現することを目的としている。市は大学に対して市有林を無償で利用に供するほか、必要な支援を行っており、大学は無償供与を受ける市有林の一部を「駿大の森」と称し、ここでは森林育成作業の体験学習や、農山村地域の生活と文化に関するフィールド学習などを実施する。 また、大学は、敷地内の「駿大の里山」において、市内の小、中学校の児童、生徒を受入れ、飯能市「水と緑の学習推進事業 駿河台大学学習林活用実習」に協力している。 令和2年度はコロナ禍のため中止。
193	駿河台大学	学生参加による<まち>活性化プロジェクト	平成18年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣地域を中心に商店街、企業団体等の地域活動を学生が体験学習し、コミュニケーション能力や社会性、現実的な職業観を涵養するとともに、地域社会の重要性を認識し、大学として地域の活性化及び共生を目指す。 今年度実施したプログラムは、「地域を紹介する映像制作」「プランニングコンテスト」「ソニーミュージック連携講座」。
194	駿河台大学	地域インターンシップ	平成15年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣自治体・商工団体・企業等にインターンシップ実習の受入を依頼し、協定を締結したうえで、5日間から2週間ほど受け入れていただいている。学生は、実習にあたって、事前研修を行い、実習後、報告会で実習の成果を発表する。最終的には、インターンシップⅠという科目名で単位が認定される。 令和2年度はコロナ禍のため休講。
195	駿河台大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成19年度	産業界（企業等）			地域企業である飯能信用金庫と地域における産学連携活動を推進するため相互に協力している。地域社会の発展に貢献することを目的としており、事業内容としては、以下の事業について提携・協力を行っている。 （1）地域の経済及び企業経営に関する調査・研究 （2）地域振興活動推進への助言・指導 （3）地域企業へのインターンシップの促進 （4）大学における金融教育の促進 （5）地域教育機関における金融教育方法の共同研究 （6）その他産学連携活動に寄与する事項の推進 令和2年度の実績は「輝け！飯能プランニングコンテスト」の開催。
196	駿河台大学	市民のための無料法律相談（飯能市、入間市）	平成6年度	自治体（行政）			飯能市および入間市の市民相談への貢献および本学学生に対する法学実地教育の機会として、両市との共同開催による市民のための無料法律相談を行っている。平成17年度には飯能市と、平成18年度には入間市と、それぞれ法律相談に係る協定も結んでいる。
197	駿河台大学	子ども大学はんのう	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	飯能商工会議所・飯能市教育委員会・飯能信用金庫と実行委員会を組織し、小学生が学校では学ぶことができないことを大学の教員や地域の専門家などが5日間にわたり授業を行う。 令和2年度はコロナ禍のため中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
198	駿河台大学	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		飯能市、飯能市体育協会と連携し、コーディネーショントレーニングの普及に関する活動を行うことにより、飯能市民の健康づくりと運動能力の向上及びコーディネーショントレーニングによるまちづくりに寄与することを目的に、協議会を設立。保育園児や小学生の体験会だけではなく、指導者育成を目的とするセミナーも開催している。
199	駿河台大学	ワクワクフェスタ	平成26年度	自治体（行政）			親子や大人と子どもの交流を深め、子育てが楽しくワクワクすることを実感してもらうことを目的に、飯能市と連携し、本学を会場に「親子でコーディネーショントレーニング体験」、「自分の家を探そう!」、「芝生で遊ぼう」の3つのプログラムを実施。 令和2年度はコロナ禍のため中止。
200	駿河台大学	夏休み親子映画会	平成2年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		毎年8月に開催している。近隣市だけではなく都内からも多数の幼児や小学生が本学キャンパスに訪れ、映画やキャンパスを楽しんでいる。保育園や学童などの団体での参加も多い。 令和2年度はコロナ禍のため中止。
201	駿河台大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）事業	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する18大学・短大で構成する地域連携プラットフォーム（TJUP）に参画。参加校は相互に、また、自治体、産業界とも連携・協力して、人口の減少、少子高齢化の進行、コミュニティの弱体化、地域の活力低下、産業・経済の後退など地域社会が抱える諸課題の解決に取り組み、地域の自立と持続的な発展に寄与することを目的に発足した。 令和2年度は、合同企業説明会など主にオンラインで活動。
202	駿河台大学	駿河台大学 健康講座	平成30年度	産業界（企業等）			埼玉石心会病院と連携し、9月に「駿河台大学 健康講座」を実施（3月は中止）。医療の専門家による講座を実施することにより、地域住民の病気や医療に関する知識を高め、健康増進に寄与することを目的としている。 令和2年度はコロナ禍のため中止。
203	駿河台大学	中学生社会体験チャレンジ	不明	自治体（行政）			生徒の校外授業の一環として、地域の事業所における社会体験を通じ、勤労の尊さや意義を学び、自立心をもって"生きる力"を身に付けることをサポート。 令和2年度はコロナ禍のため中止。
204	駿河台大学	飯能市選挙サポーター	平成28年度	自治体（行政）			飯能市から任命された学生が、選挙での若者の投票率を上げるための活動を行う。令和2年度はポスターデザイン考案。
205	聖学院大学	さいたま北商工協同組合との連携		産業界（企業等）			さいたま北商工協同組合に大学として会員加入。「さいたまKI-TAまつり」など地域活性化活動に学生が運営ボランティアとして参加。その他、組合会員企業とインターンシップの促進に関する覚書や、組合が管理する宮原駅近隣のコミュニティカフェ施設使用に関する覚書を交わし、連携を図っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「さいたまKI-TAまつり」は中止となった。
206	聖学院大学	上尾シラコバト住宅に関する協定に基く連携	平成26年度	自治体（行政）			埼玉県と締結した「特別県営上尾シラコバト住宅の共助による活性化促進に係る連携協定」に基づき、4名の学生が入居し、団地活性化の取組を実施。また、学生が入居したことにより「しらこぼと夏祭り」が再開され、留学生を含む入居学生が運営などに参加している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「しらこぼと夏祭り」は中止となった。
207	聖学院大学	子ども大学あげお・いな・おけがわ		自治体（行政）			埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、日本薬科大学と本学で組織された子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会の主催で実施している。小学校4～6年生までの違う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子どものための大学で、教員が本学の特色を生かした学びの機会を提供している。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度のプログラムは中止となった。
208	聖学院大学	大谷地区自主防災啓発事業	平成27年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		上尾市大谷支所、大谷地区自主防災組織連合会と連携し、年に1回情報交換も兼ねた防災講座を実施している。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度のプログラムは中止となった。
209	聖学院大学	アッピー応援隊	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		こども心理学科の学生が中心となり、上尾市のマスコットキャラ「アッピー」を上尾市内の保育所・幼稚園の子どもたちに親しんでもらう訪問活動を実施。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、活動休止となった。
210	聖学院大学	パワフルキッズ	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		埼玉県から依頼を受け、一般社団法人すくすく広場、シラコバト団地自治会と連携し、上尾市にある県営上尾シラコバト団地の活性化につながる子どもたちのあそび場の提供を行っており、ハロウィン、ひな祭りなど季節にあわせたイベントを継続している。令和2年度は新型コロナウイルス感染対策をとりながら、ハロウィンとクリスマスの時期に合わせてプレゼント配布と屋外遊びを実施した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
211	聖学院大学	福祉教育について考える会 こころの輪「ここ輪」	平成29年度	自治体（行政）			「こころの輪（通称：ここ輪）」は、精神保健福祉領域における福祉教育活動を行っている。「みんなで学ぼうメンタルヘルス、共に学ぼうリカバリーストーリー」を合言葉に、当事者の方々と一緒に学ぶことを大切にしながら、「誰もが住みやすい地域にしていこう」を目指し活動しており、行政の人権講演会の講師等として当事者とともに活動を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、活動休止となった。
212	聖学院大学	大学コンソーシアムさいたま		大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
213	聖学院大学	聖学院大学公開講座		自治体（行政）			さいたま市教育委員会・上尾市教育委員会と共催して、聖学院大学公開講座を実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止となった。
214	聖学院大学	オンラインボランティア活動	令和2年度	保育園	NPO法人		コロナ禍におけるボランティア活動として、埼玉県内の保育園や子育て支援のNPOとオンラインで繋ぎ、こどもたちにレクリエーションを提供する活動を展開した。
215	聖学院大学	ゼミによるオンラインでの「パワーポイント絵本」の読み聞かせ	令和2年度	保育園	NPO法人		造形教育論のゼミにおいて、コロナ禍での子どもとの関わりを模索し、パワーポイント絵本の実施を考案し、県内の保育園や子育て支援イベントにおいてオリジナル絵本の読み聞かせを行った。
216	聖学院大学	未来をひらく～私と3.11のこれまでとこれから～	令和2年度	埼玉県防災学習センター	他大学ボランティアセンター		東日本大震災から10年の節目を迎えることから、埼玉県内で復興支援に関わってきた学生を中心に5大学の学生が実行委員会を組織し、埼玉県防災学習センター、本学ボランティア活動支援センター共催により、震災を悲劇としてだけでなく、学び未来をひらくできごととして捉え直し、これからの繋げるイベントを実施した。
217	大正大学	社会共生物学部公共政策学科フィールドワーク実習	令和2年度	自治体（行政）			さいたま市と連携し、社会共生物学部公共政策学科のフィールドワーク実習を実施している。
218	大正大学	としまMONOづくりメッセ参加企業・団体による春休みインターンシップ	令和2年度	自治体（行政）			秩父地域森林林業活性化協議会（秩父市 産業観光部商工課）と連携した、森林施業の効率化や地域産木材利用の推進事業。
219	東京家政大学	≪TJUP≫吉見町かけっこ教室	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校及び特定地域が互いに有する諸種の資源を提供し、それらを有効に活用することにより、地域及び教育機関の活性化を目指すことを目的とする地域連携事業。 武蔵丘短期大学において、当日運営ボランティアとして9/13（日）看護学科4年生2名が参加。10/18（日）子ども支援学科2年生2名が参加。
220	東京家政大学	≪TJUP≫幼児運動教室	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校及び特定地域が互いに有する諸種の資源を提供し、それらを有効に活用することにより、地域及び教育機関の活性化を目指すことを目的とする地域連携事業。 武蔵丘短期大学において、当日運営補助及び記録係として職員3名が参加。
221	東京家政大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する18大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校として参画。 多様な大学・地域・地元企業との連携、協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。（単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等）
222	東京国際大学	川越市インターンシップ	平成18年度	自治体（行政）			平成18年度より自治体である「川越市」の協力を得て、毎夏2～4名の学生を派遣し就業体験を実施。 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。
223	東京国際大学	川越大学間連携講座東京国際大学共催事業	平成24年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		川越市内にある4大学と連携し川越市民対象の「川越大学間連携講座」を開催 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。
224	東京国際大学	川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他	平成27年度	産業界（企業等）			キャリアプランニング教育の一環として商学部学生が地元企業の実態を知る機会を持ち就業機会の拡大を目的とした川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。
225	東京国際大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成21年度	自治体（行政）			「埼玉県福祉部と東京国際大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、県内在住の55歳以上の方を対象に授業科目の一部を開放。 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
226	東京国際大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成22年度	産業界（企業等）			飯能信用金庫と包括協定を結び、その一環として冠講座の提供、学生に各業界の就業体験を経験させるためにインターンシップ先の紹介・支援の提供等。 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
227	東京国際大学	「小江戸(川越)まちおこし」プロジェクト	平成25年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	<p>文部科学省「平成25年度地（知）の拠点整備事業(COC事業）の拠点校として採択されたことを機に「地域を志向した教育・研究・社会貢献」を進めている。現在は文科省COC事業からは離れ、本学独自の取組としている。</p> <p>地域のまちおこしの担い手となる『グローバル人材』を育成するために、大学・自治体（行政）・民間（企業及びNPO等）の3者が連携・協働し、①地域商業・産業の活性化②川越の文化・歴史的資産(観光資源)を国内外へ発信③「まちおこし活動」の第一線で活躍できる主体的な人材育成を目指し地域志向型の教育研究体制を整備・充実することが本事業の目的である</p> <p><令和2年度></p> <p>■タイトル：川越公・民・学連携会議 日程：7月29日、8月24日、9月18日、10月30日、11月20日 場所：Web開催（Zoomミーティング） 概要：川越市役所、地元企業、本学による「川越公・民・学連携会議」。</p> <p>本年度「観光まちおこしプロジェクトA・B」では、「大学生観光まちづくりコンテスト」への出場を目指し、①茨城県の神栖市、行方市、土浦市、かすみがうら市の地域活性化への提案を行うチーム、②地元川越の街おこしへの提案を行うチームとに分かれ、PBL型授業を展開。</p>
228	東京国際大学	「スクール・インターンシップ」による学校支援事業	平成27年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		<p>川越市教育委員会が市内近郊の大学と連携し、</p> <p>①市立小・中学校を対象に教職課程に在籍する学生を派遣し、学習指導の支援や部活動支援をとおして児童生徒の学力及び体力の向上を図ることをねらい、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目的とする。</p> <p>②2020年度からの小学校での英語が教科化されることをうけて、川越市内小学校と言語コミュニケーション学部とで、「川越市小学校英語ティーチング・アシスタント」制度を導入。</p> <p><令和2年度></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、実施せず。</p>
229	東京国際大学	川越商工会議所連携事業「商学部公開授業」	平成27年度	産業界（企業等）			<p>川越商工会議所と連携し、①事業の維持・継続・発展②事業の経営理念・経営目標・経営戦略③事業の承継と後継者の育成④事業承継と税制（資金調達）の観点より事業承継に関する基礎知識を埼玉県民へ一般公開する取組。</p> <p><令和2年度></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、実施せず。</p>
230	東京国際大学	キャリアプランニング	平成25年度	公務員（行政）	警察（埼玉県警察本部）		<p>キャリア形成支援科目のひとつとして埼玉県警察幹部職員を講師として迎え、治安行政と個人や社会の安全を守るための警察行政について理解を深め、社会生活上犯罪被害を防止するための具体的な知識を習得することを到達目標とした授業を実施。科目名：「地域の安全と警察」</p> <p><令和2年度></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため実施せず。</p>
231	東京国際大学	坂戸高校国際交流研修	平成28年度	幼保・小・中・高等学校等			<p>坂戸高校の国際理解教育の一環として、留学生を坂戸高校へ派遣し、少人数でのフリートークを通じた、国際相互理解と英語でのコミュニケーションを目的とした国際交流企画。</p> <p><令和2年度></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。</p>
232	東京国際大学	川越国際交流センター受付業務委託	平成23年度	自治体（行政）			<p>川越市国際文化交流課の業務委託を受け、川越市国際交流センターに留学生を派遣し、受付業務を担当する。業務内容として、来館者への対応、インターネット利用希望者の利用受付、来館者の集計、センター内の見廻り、簡単な通訳・翻訳などである。</p> <p><令和2年度></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、6月からの勤務にて実施。</p> <p>期間： 2020年6月1日～9月30日（104日） 曜日： 月曜日～日曜日（火曜日を除く） 時間： 9：30～16：00 場所： 川越市国際交流センター 派遣留学生： 9名</p>

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
233	東京国際大学	川越市外国籍市民会議	平成30年度	自治体（行政）			川越市主催の多文化共生と国際交流・協力の推進のための川越市外国籍市民会議に参加。 <令和2年度> 東京国際大学より留学生1名が委員として参加。 第1回会議 開催日時:令和2年9月5日（土曜）午後5時10分から 開催場所:北公民館 会議室1・2号 議題 1.令和2年度のテーマ決め 2.その他 第2回会議 開催日時:令和2年10月24日（土曜）午後5時10分から 開催場所:北公民館 会議室1・2号 議題 1.『外国籍市民のための教育相談ガイド（第2版）』の発行について 2.その他
234	東京国際大学	国際理解講座	令和元年度	自治体（行政）			2020年東京オリンピックのゴルフ会場が地元川越市で開催されるため、多くの外国人観光客が川越市を訪れることが予想される。そのため、市の活性化をテーマに「川越おもてなしプラン」が策定され、その一環として、市民を対象にした外国人観光客への多言語対応の取り組み、「おもてなし英語・ベトナム語」「おもてなし英語・中国語」と題した国際理解講座が行われており、東京国際大学GTI教員が英語の回（各講座4回）を担当している。 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施されず。
235	東京国際大学	川越産業フェスティバル	平成28年度	自治体（行政）			川越市産業振興課から商学部が参加依頼されたもので川越市の産業振興のためのフェスティバル。本年度も、商学部の斐品正照ゼミが出展した。5年連続出展の町おこしのボランティア活動であるが、本年度は、昨年のユネスコの無形文化遺産となった川越まつりの山車の歴史を楽しみながら学べるゲームを更に発展させたものを、企画・制作した。現代と江戸時代の山車を再現してゲームの体験版も完成させ、小学生を中心に大盛況となった。 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施されず。
236	東京国際大学	学生キャリア支援	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		<令和2年度> 就職価値観を醸成するという目的で埼玉県庁の補助金を受け、県庁と（株）マイナビとの連携のもと、埼玉県の企業から、具体的な経営課題を提示してもらい、学生がその課題解決のプロセスを体験する中で学習していくPBL(Problem Based Learning)型の授業で展開した。本年度、株式会社ニチネンの協力のもと「利用者視点の防災セット」というテーマに取り組んだ。
237	東京国際大学	ふじみ野市学生インターンシップ	平成17年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		ふじみ野市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へフレッシュサポーターとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。
238	東京国際大学	鶴ヶ島市学生インターンシップ	平成25年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		鶴ヶ島市教育委員会と東京国際大学が、学校教育分野における連携、協力を努めることにより、相互の教育の充実及び人材の育成、広く社会の発展に寄与することを目的とし、鶴ヶ島市の小・中学校へ教育支援学生ボランティアとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。
239	東京国際大学	彩の国はたらく情報館企業の魅力動画	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		<令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できず。
240	東京国際大学	近隣小学校への学習支援	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			<令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できず。
241	東京国際大学	現代GP子ども支援プロジェクト	平成19年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		平成19年に文部科学省の採択を受けて始まった人間社会学部の学生が行っているボランティア活動である。現在は不登校や障害を持つ児童生徒への学習支援や家庭訪問等を行うことで当該児童への支援を行うと共に、学生自身の「気づき」や「成長」を促して行く活動を行っている。ボランティア学生（スチューデント・サポーター）の活動場所は主に市内の小中学校や教育センターであり、教職員、教育関係機関が協働・連携して行っている。 <令和2年度> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止。
242	東京電機大学	TDU産学交流会	平成2年度	産業界（企業等）			日刊工業新聞社川越支社が事務局となり、講演会、企業視察、工場見学、事例発表会、親睦ゴルフ大会、一泊研修、学生向けの企業研究会など、年間を通じて開催し、会員企業と本学との連携を図っている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
243	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による単位互換	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムへ加盟している16大学の内、10大学が単位互換に参加している。 希望する学生は履修したい大学へ2,000円の登録料を支払うことで、科目数には制限は無い。
244	東京電機大学	国際野外の表現展	平成15年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			外部団体である実行委員会より依頼を受け、キャンパス内へ国内外のアーティストの里山空間に表現された作品を設置している。これにより、人里はなれたキャンパスへ地域住民が散策に訪れ、地域に潜在する様々な魅力を見いだしている。
245	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による教職員研修会	平成17年度	大学・短大（大学・短大間連携）			協定に加盟する16大学対象に、当番校の特色を生かして交代で年数回実施している。H28年度は2回の実施を予定している。
246	東京電機大学	北坂戸にぎわいサロン	平成26年度	自治体（行政）	その他		坂戸市との協定に基づき、東武東上線北坂戸駅前にあるUR所有の店舗を借り受け、地域の活性化を目的として様々な活動を行っている。教員や学生がパソコン相談やiPad講習会を実施するほか、地域住民のボランティアが様々な講座を開講して、活発な活動を行っている。
247	東京電機大学	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	比企地域の自治体や大学、企業等が連携し地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議し、それを実現させるための活動を支援し、地域の振興と発展に寄与する。平成28年度はワークショップや講演会を実施した。
248	東京電機大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・人事交流・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
249	東邦音楽大学	南古谷ウインドオーケストラ	平成17年度	幼保・小・中・高等学校等			少子化に伴い、個々の吹奏楽の団体では部員も減少し、十分な編成を組むことが出来なくなってきたこと、吹奏楽の練習等を行うための施設の確保が難しいこと、さらに指導者が不足していることから、川越市南古谷地域子どもサポート委員会との連携により、川越市南古谷の中学校3校（南古谷中学校・東中学校・砂中学校）の吹奏楽部員を核に演奏活動を行っている。平成28年度より、一定の基準をクリアすれば単位認定を行っている。 ※令和2年度はコロナで中止
250	東邦音楽大学	東邦音楽大学 管打楽器実技講習会 ～プラスクリニック～	平成12年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会、埼玉県吹奏楽連盟、川越市吹奏楽連盟の後援を得て、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。 ※令和2年度はコロナで中止
251	東邦音楽大学	川越市吹奏楽連盟 管打楽器実技講習会 ～プラスクリニック～	平成13年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、川越市吹奏楽連盟の要請を受け、川越市内、中学校・高等学校の吹奏楽部より希望する団体を集め、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。 ※令和2年度はコロナで中止
252	東邦音楽大学	中学校・高校生のための日本管弦打楽器ソロコンテスト	平成16年度	その他			文部科学省（2019年度～文化庁）、埼玉県、埼玉県教育委員会他諸団体の後援・協賛を頂き、全国の中学生高校生を対象とし、木管楽器部門・金管楽器部門・打楽器部門・弦楽器部門のソロ演奏審査を行っている。《予選》では、参加者全員に審査員の講評が渡され、《本選》では金賞、銀賞、銅賞の3つのランクに表彰及び審査員の講評が渡される。また、金賞受賞者のうち、特に優秀であると認められた参加者には特別賞が授与され、受賞記念演奏会に出演することができる。
253	東邦音楽大学	音楽鑑賞教室	平成8年度	幼保・小・中・高等学校等			小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を対象として「オーケストラ」「ウインドオーケストラ」演奏などの鑑賞教室を行っている。 ※令和2年度はコロナで中止
254	東邦音楽大学	都立大塚病院院内ミニコンサート	平成4年度	その他			病院にて、入院患者はもとより一般来院者の方々を対象にミニコンサートを行う。 ※令和2年度はコロナで中止
255	東邦音楽大学	文京シビックコンサート	平成7年度	自治体（行政）			文京区役所シビックセンターにて、一般の方々を対象にコンサートを行っている。 ※令和2年度はコロナで中止
256	東邦音楽大学	出張演奏	平成5年度	その他			川越市東部地域ふれあいセンター他、文京区、川越市内などの児童館、図書館、保育園、福祉施設、病院、各種イベントなどへ出張コンサートを行う。 ※令和2年度はコロナで中止
257	東邦音楽大学	ニューイヤーコンサートin南古谷	平成17年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			南古谷地域の文化団体の演奏発表会。東邦音楽大学附属東邦第二高等学校及び南古谷ウインドオーケストラも出演している。 ※令和2年度はコロナで中止
258	東邦音楽大学	インターンシップ	平成17年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	その他	大学2、3年次生及び短期大学1、2年次生を対象として、行政（自治体）又は企業において概ね10日間の就業体験を行っている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
259	東邦音楽大学	小学校、中学校の授業サポート	平成16年度	幼保・小・中・高等学校等			川越市内小学校、ふじみ野市内小学校、中学校において、学生が授業サポートにあたっている。平成28年度より、一定の基準をクリアした場合には単位認定を行っている。 ※令和2年度はコロナで中止
260	東洋大学	川越市との連携	平成24年度	自治体（行政）			教育研究等における協力関係について包括協定を締結し、多方面で連携関係を構築している。
261	東洋大学	埼玉県立高等学校 学習サポーター	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を埼玉県内の公立高等学校に派遣。理科・数学の補講指導、進学相談、始業前の生活指導など、多くの面で教員を補助することで教育現場を体験する。
262	東洋大学	川越市立学校スクールサポート	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立の小・中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
263	東洋大学	さいたま市学習ボランティア	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生をさいたま市の小学校に派遣。学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
264	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体（行政）			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
265	東洋大学	高等技術専門校の実習実施への協力	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県産業労働部産業人材育成課からの依頼に基づき、埼玉県立の高等技術専門校の学生に対して、研究者が環境実習（講義・施設見学等）を実施。
266	東洋大学	デジタル・エンジニアリング・アカデミー	平成30年度	産業界（企業等）			工業技術研究所と武蔵野銀行の共催による新技術の自社導入を目指す企業を対象とした連続講座。2020年度は、2018・2019年度の参加企業へのヒアリングを行い活動の振り返りと今後のニーズを確認し、2021年度の活動に向けたテーマ選定などの検討を行った。
267	東洋大学	子ども大学あさか	平成23年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学のキャンパスで、大学教員をはじめとするさまざまな分野の専門家が「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」という3つの分野の講義や実習体験を提供する小学4年生から6年生を対象とした「子どものための大学」。 企画運営：子ども大学あさか実行委員会（朝霞市教育委員会・（社）朝霞青年会議所・東洋大学・NPOアンサーズ・ネット）
268	東洋大学	朝霞市における小学生の居場所づくり「きゃんぱす」事業	平成28年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			少子高齢化や核家族化の進行といった社会状況の中、学習や友人関係のつまづきなどから不登校になる子どもの増加が懸念されている。これらは地域における孤立化、不就業、貧困化に結びつきやすく、早い段階から子どもの育ちを支える仕組みが必要である。この活動では、小学生の居場所づくり事業として、福祉や教育に係る資格取得を目指す学生が、子どもひとりひとりにあわせた学習支援、相談支援、遊び支援を提供する。
269	東洋大学	NPOと協同したシニアのための健康体操教室	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			NPOあさか市民大学と連携し、シニアのための健康体操教室を開催。ストレッチ体操、レジスタンス体操、音楽に合わせて行う簡単なリズム体操、歌いながら左右の手を非対称に動かす運動プログラムを考案した。
270	東洋大学	オリンピック・パラリンピック推進連携事業	平成30年度	自治体（行政）			大学での障がい・多様性理解に関するシンポジウムの開催。
271	獨協大学	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター活動	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	平成19（2007）年の開設以来、子どもに関わる相談機関として、常に子どもの最善の利益を考えながらサポートを行っている。センタースタッフによる相談対応の他、獨協医科大学埼玉医療センター、草加市立病院、埼玉県立大学、文教大学の協力を受け、専門家による無料相談も行っている。加えて、併設する地域と子ども法律事務所との連携を図りながら法的解決にも努めている。その他、母親向け講座「おやこ大学」、小学生対象「大学たんけん」、「弁護士と学ぶワークショップ」、草加市と連携した「子育てフェスタ」、「子育て支援講座」などのイベントも開催している。なお、これらの活動が認められ、子育て・家族支援等において顕著な功績があった団体として、平成25年度内閣府特命担当大臣表彰（子ども・若者育成支援部門）を受賞した。
272	獨協大学	埼玉県「ふるさと支援隊」	平成23年度	自治体（行政）			中山間地域の多くの集落では、高齢化や過疎化の進行等により、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっている。大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図ることを目的とする。 (1)活動計画作成 (2)協働活動(4回以上) (3)活動状況の報告 (4)活動報告会への参加 (5)活動結果報告書(成果品)の作成
273	獨協大学	草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業	平成25年度	自治体（行政）			「草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業に関する基本協定書」に基づき、草加市と獨協大学は、互いに連携・協力して豊かな地域社会を創るため、地域研究の共同研究事業を実施する。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
274	獨協大学	草加ふささら祭りとのジョイント開催	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学祭実行委員会が草加ふささら祭り実行委員会と連携し、大学祭参加団体の草加ふささら祭り会場でのパフォーマンス披露、広報協力、大学祭イベントで「ふささら賞」の設置など、様々なコラボレーションを行っている。また例年、「草加ふささら・ドイツフェア（主催：草加ふささら祭り実行委員会）」が大学祭に合わせて獨協大学前駅西口広場にて開催される。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2（2020）年度の実施実績は無し。
275	獨協大学	国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」	平成16年度	自治体（行政）			本学を会場として国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」（主催・草加市国際交流協会、共催・獨協大学）を例年6月に開催している。世界各国出身の草加市民が本学学生とともに、自国の文化・料理・音楽・ダンスや民族衣装を披露し、来場者との交流や国際理解を深められるイベントとなっている。「ワールド・ランゲージ」という企画には海外協定校からの留学生が参加し、各国の言語で高校生や市民・子どもたちとの会話をっており、好評を得ている。本学の学生団体やゼミ等も多数参加しており、研究発表や交流型イベントも行っている。毎回6,000名が来場しており、その運営に多くの学生がボランティアとして携わっている。 令和2（2020）年度および（令和3（2021）年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった）
276	獨協大学	大学連携講座「けんかつオープンカレッジ」	平成21年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）		公益財団法人いきいき埼玉主催の一般市民向け公開講座「けんかつオープンカレッジ」に講座を開設した。平成28,29,30（2016-2018）年度は依頼がなく実施していない。ここ数年の実施は無し。
277	獨協大学	草加市共催子育て支援講座	平成21年度	自治体（行政）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、草加市・獨協大学協働宣言に基づき、子育て支援講座を共催している。令和2（2020）年度は「子どものアレルギー勉強会」、「シアワセに包まれた家族を築こう」「子育て講座」を開講した。「楽しい親子関係作りのプログラム」ではペアレントプログラム講師認定資格を持つ当センター相談員が講師を務めた。
278	獨協大学	子育てフェスタの実施・運営	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	その他	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、親子で一緒に楽しく遊ぶ場、人と人が触れ合う場を提供し、地域の子育て支援を行うことを目的とした、草加市主催のフェスタの運営・企画に運営委員として協力し、当日には工作や手芸のブースを出している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2（2020）年度の実施実績は無し。
279	獨協大学	親子・支援者向け講座	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、子どもに関わる支援者・団体との連携を強め、多様化する子どもの問題に対応できるよう講座を開催している。毎回子どもの環境に視点を置いた内容として、平成26年度「様々な課題を抱える家族への支援講座」、「保護者との連携を進めていくために」、27年度「メディア環境と子どもの育ち」、平成29（2017）年度は「学校における事件・事故とリスク対応—子どもの最善の利益の視点から」をテーマに行った。毎回地域支援者等から多くの参加がある。ここ数年の実施は無し。
280	獨協大学	小学生の剣道合同稽古	平成元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			松原剣道スポーツ少年団（草加市）の小学生が大学内の道場にて本学剣道部の学生と合同で稽古している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2（2020）年度の実施実績は無し。
281	獨協大学	学内献血の実施	昭和44年度	産業界（企業等）			社会福祉ボランティアを活動目的とする文化会団体（部）の白鷺会が、埼玉県赤十字血液センターの献血事業に毎年協力している。令和元（2019）年度は4月、12月に実施した。平成21（2009）年には長年の協力に対し、日本赤十字社より、白鷺会に感謝状が贈呈されている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2（2020）年度の実施実績は無し。
282	獨協大学	夏休み大学たんけん	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、地域の子どもたちの健全育成や関係団体との連携を目的として、夏休み期間を学童（児童）クラブで過ごす子どもたち対象に、子どもたち自身に「たんけんたい」として大学内を散策してもらうことで大学紹介へとつなげる取り組みを行っている。平成30（2018）年度は、事情により催行中止となった。令和2（2020）年度の実施実績は無し。
283	獨協大学	夏休み子どもワークショップ	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、小学校高学年対象の子どもワークショップを埼玉弁護士会協力のもと開催している。令和2（2020）年度は夏の開催を延期し、令和3（2021）年3月に実施。「全集中で解き明かせ！～弁護士と学ぶ刑事裁判の原則～」をテーマに、人を裁くとはどういうことか、その際に必要な考え方（無罪推定の原則や証拠裁判主義）について学ぶ。
284	獨協大学	高年者学級 コスモス	平成20年度	自治体（行政）			草加市立谷塚文化センターが主催する事業に草加市内在住の60歳以上を対象に年間10回の催しを開催する高年者学級「コスモス」がある。その催しの一つ「草加のまちを考える わがまちの獨協大学で学ぶ」を毎年本学内で開催。講師による講義、施設見学等を実施している。令和2（2020）年度の実施実績は無し。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
285	獨協大学	子ども大学そうか	平成27年度	自治体（行政）			子ども大学は、大学のキャンパスなどを会場に大学教員や地域の専門家が講師となり、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行うもので、埼玉県内各地で広く実施されている。草加市では「子ども大学そうか」として草加市と獨協大学の協力により平成27（2015）年度から開講された。草加市内の小学校の子どもたちが、獨協大学のキャンパスや市内の事業所などで楽しく学んでいる。令和2（2020）年度は獨協大学キャンパスでは実施せず、草加市内の施設にて実施。
286	獨協大学	法政総合講座	平成16年度	自治体（行政）			近隣の草加市、越谷市、八潮市との関わりの中で、各市が目指すまちづくりや自立した自治体を実現するための新たな行政経営を理解し、学生が自ら地方行政に参加する双方向の授業として、「法政総合講座」を開講し、一部を市民に公開している。この講座は隔年で開催され、前出3市の職員の方が講師となり、地方行政が抱えている課題や新たな取り組みについて講義を行う。募集については、広報そうか等でお知らせしている。
287	獨協大学	自転車サルベージの実施		地域団体（NPO、ボランティア等）			環境サークル「Deco」がFSCサルベージ協会（事務局：草加市）と協働で年4～5回、草加市や川口市などを流れる川から廃棄自転車の引上げを行っており、平成29（2017）年度には引き上げた自転車の数が累計1000台となるなど継続的に活動している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2（2020）年度の実施実績は無し。
288	獨協大学	草加宿場祭まつり大名行列		地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		演劇研究会が草加宿場まつりの中の企画である大名行列において、行列に参加するだけでなく、小学生へ歩き方の事前指導や、当日の小学生の体調管理など草加宿場まつり実行委員会と連携し運営している。また、行列には本学の外国人留学生も参加している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2（2020）年度の実施実績は無し。
289	獨協大学	おやこ大学	平成22年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	その他	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、初めて子育てをする母親の子育て支援を目的とした「しんまいママとあかちゃんのおやこ大学」を開講している。令和元（2019）年度は「タッチケア（ベビーマッサージ）」「離乳食について」「スクラップブック」「絵本の楽しみ方」をプログラムとして扱った。令和2（2020）年度の実施実績は無し。
290	獨協大学	小中学校・高等学校への留学生派遣	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			小中学校・高等学校における国際理解の授業等のため、外国人留学生の参加依頼があることから、学生の履修等に支障のない範囲（年3回程度）で各校に派遣を行っている。授業等において母国や文化に関する紹介を行っており、平成24（2012）年が最初の事例となる。令和2（2020）年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大によって外国人留学生が受入れ不可となったことから実施せず。
291	獨協大学	おやこ広場 とらいあぐる	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターと子育て支援団体「ハートライアングル」との共催でおやこ広場を開催している。年齢月齢別に3クラスに分け、それぞれ月に1回ずつ開催。親の子育てと子どもの成長・発達を支え、親子の良好な関係を築くためのサポートが目的。令和2（2020）年度は10月よりオンラインでの開催。
292	獨協大学	高齢者用施設での慰問演奏、演技披露、イベント協力		地域団体（NPO、ボランティア等）			クラブサークルが近隣の老人ホームやデイケアセンターにて慰問演奏や演技披露、イベント協力を行っている。2019年度は、管弦楽部が慰問演奏、フラメンコサークルが演技披露、ボランティアクラブが夏祭りの手伝いなどを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2（2020）年度の実施実績は無し。
293	日本医療科学大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
294	日本工業大学	NITEC埼玉産学交流会	昭和60年度	産業界（企業等）			NITEC埼玉産学交流会は、本学協力のもと、埼玉産業人クラブが会員企業の技術レベル向上を図るため、NITEC埼玉産学交流会を推進するとともに、あわせて地域産業の発展に寄与することを目的として、研究現場訪問や産学連携セミナーなどを実施している。
295	日本工業大学	情報ボランティア派遣制度	平成9年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の情報工学科では、地域社会の情報化への貢献、ボランティア精神の涵養などを目的に、情報技術の専門知識を生かしたボランティア活動を行う「情報ボランティア」として、学生を近隣の小学校などに派遣している。平成9年度より毎年開催してきているが、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
296	日本工業大学	教育ボランティアの派遣制度	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			将来、教員を目指す学生が、教育現場に入り児童・生徒及び教職員と交流し教育の意義と役割を考えること、学生の若い力で地域の教育活動に貢献することを目的として、学部生で教職課程を履修している者及び大学院生で教員免許を所持している者を近隣の小・中学校等に派遣し、授業補助やクラブ活動の補助などの活動を行っている。平成19年度より毎年開催してきているが、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で1名のみ派遣となった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
297	日本工業大学	関東地区リフレッシュ理科教室	平成20年度	その他			物理学会・応用物理教育分科会と連携し開催。対象は小・中学校の児童生徒及び教員で、身近なサイエンスの原理を楽しみながら体験的に理解すること、教育現場での指導の一助となることを目的としている。平成20年度より毎年開催してきているが、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
298	日本工業大学	大学によるリカレント教育	平成20年度	埼玉県	大学・短大 (大学・短大間連携)		埼玉県との協定による県内16大学共同実施の開放講座で、本学はこの講座のニックネームを「シニアチャレンジ講座」として公開している。1年に2回、春と秋に受講生を募集し、学部学生と机を並べ学習に参加するものである。平成20年度より毎年開催してきているが、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
299	日本工業大学	高度金型人材育成事業	平成20年度	自治体（行政）			本学では、平成20～22年度の3年間にわたり経済産業省の産学連携パートナーシップ事業の支援を受け、高度金型人材育成のための教育カリキュラムの開発を進めてきた。平成23年度より、本学に金型教育事業部を設け、基盤的技術力を身につける金型基礎ユニット（U1）と金型実践ユニット（U2）、高度金型を手掛けるためのマネジメント力を身につける金型マネジメントユニット（U3）を実施している。
300	日本工業大学	夢を見つける！リアル体験教室「科学者になりたい！」 (埼玉県青少年夢のかけはし事業を改名)	平成21年度	埼玉県			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議が主催する連携事業で、小学生の夢発見や夢実現を支援するため、各分野で活躍中の埼玉ゆかりの一流のプロフェッショナルから学び・体験する教室。本学では、「科学者になりたい！」として物理教員が担当している。令和2年度は本学にて12月5日実施、小学生80名参加。
301	日本工業大学	春日部市包括的連携推進事業	平成22年度	自治体（行政）			春日部市が活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展のため、包括的連携協定を締結している大学及び短期大学の研究グループに対し、研究に要する費用を助成する。令和2年度は「春日部駅東口エリアにおける遊休不動産の活用及び地域の担い手づくりに関する研究」を行っている。
302	日本工業大学	寄付講座	平成23年度	産業界（企業等）			川口信用金庫による寄付講座「創業の基礎」を例年、秋学期に開講している。全学年・全学科対象の自由科目となっている。受講生にとっては社会で活躍する企業家等の生の経験談を得ることができる貴重な機会となっている。
303	日本工業大学	春日部市官学連携団地活性化推進事業	平成23年度	自治体（行政）			春日部市と包括的連携協定を締結している大学の学生グループが、春日部市武里団地でルームシェアにより居住し、団地活性化のために行う地域貢献活動に対し、団地家賃の半額相当額及び定期代半額相当額の助成金が交付される。令和2年度は6名の学生が入居し活動している。
304	日本工業大学	子ども大学みやしろ	平成23年度	自治体（行政）			本学、宮代町、埼玉県等による連携事業。本学では「ものづくり」「実工学教育」を学びの基本とした専門的な講義や体験などを実施。平成23年度より毎年開催してきているが、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
305	日本工業大学	彩の国連携力育成プロジェクト	平成24年度	大学・短大 (大学・短大間連携)	自治体（行政）		埼玉県立大学（代表校）を中心に埼玉医科大学、城西大学、本学および埼玉県が参画。多職種の連携により課題を発見し解決できる人材の養成を目的とする。4大学の学生がチームで現場実習に取り組む連携科目を共同開発・開講したほか、実社会で活躍する現任者の方々も対象とした取組などを、多様に展開している。
306	日本工業大学	彩特ICT/AT.Labo 研究大会	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			彩特ICT/AT.Labo（埼玉県内の特別支援学校や特別支援学級の教員が集まり成26年度に発足した任意研究会）と本学が連携し、ICTとAT（アシスティブテクノロジー：支援機器・技術）を活用した特別支援教育の実践研究大会を年2回共同開催している。3年生のPBL演習科目、卒業論文や修士論文の研究テーマ策定や成果発表の場となっている。この連携の一環で越谷総合技術高校と合同のPBL演習も実施している。
307	日本工業大学	子ども大学すぎと	平成28年度	自治体（行政）			本学、杉戸町、町内企業等による連携事業。本学では「ものづくり」「実工学教育」を学びの基本とした専門的な講義や体験などを実施。平成28年度より毎年開催してきているが、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
308	日本工業大学	学外ビジネスプランコンテストへの学生チーム派遣	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		春日部市が行う学生政策提案コンテスト、さいしんコラボ産学官が開催する知財活用ビジネスアイデアコンテスト等に学生チームを積極的に参加させている。春日部市学生政策提案コンテストでは平成29年より3年連続で最優秀賞を獲得する他、学生が提案した政策の実証イベントとして「サイエンススクールinかすかべ」が開催された。
309	日本工業大学	東武鉄道沿線連携勉強会	平成29年度	自治体（行政）	民間企業		東武鉄道沿線における、官民ならびに地域間連携によるまちづくりに係るナレッジの融合の機会を創出することにより、地域課題の複合的な解決を図り、持続可能な地域社会を実現する。これまで6回の勉強会の他、視察や幹事会を実施している。
310	日本工業大学	宮代2.0	平成29年度	自治体（行政）			宮代町の未来を語り合うまちの若手や学生が集う市民のコミュニティとして、多数の会合やワークショップの開催や、独自の（宮代2.0版）宮代町総合計画イメージの作成等を行っている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
311	日本工業大学	金融機関向けものづくりセミナー	平成29年度	産業界（金融機関）			文系大学出身者中心の金融機関職員を対象にした職員研修プログラム。本学の有する工作機械の名称、用途等をわかりやすく実地で伝えると同時に、工作機械の更新需要など、製造業への理解・目利き力を有した職員を育成し、結果として地域の投融資活性化・経済活性化を目指す。大学としても金融機関の支店職員に地域大学としての役割、活用方法などをレクチャーすることにより地域全体への大学PRを行えるメリットを有している。県内の2金融機関から、毎年、50名程度の職員研修を受け入れている。
312	日本工業大学	プログラミング教育推進事業	平成30年度	自治体（行政）			本学が所在する宮代町の全ての小学校4～6年生の児童に対して、総合的な学習の時間を活用し、年間5時間のプログラミング授業を設定した。内容としては、小学生でもプログラミングができるソフトを用いてプログラミング的思考を学習した。平成30年度より毎年開催してきているが、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で1校のみ実施が出来た。
313	日本工業大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	東武東上線、西武池袋線及び西武新宿線の沿線地域を中心に所在する大学及び短期大学、自治体、事業者等が参画し、「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を目指すプラットフォーム。本学は当該地域外ながら、連携教育の展開、および連携教育の方略検討において協力している。
314	日本工業大学	日本工業大学 びっくり科学実験ショー	令和元年度	自治体（行政）			越谷市の越谷市科学技術体験センター「ミラクル」の実施する科学講座の1つとして依頼を受けサイエンスショーを実施。令和2年度は11月28日に午前・午後の2回にわたり空気の力（大気圧）に関する実験演示を行い、親子連れなど約100名が参加。
315	日本工業大学	トウブコ駅周辺エリア連携（仮）	令和2年度	自治体（行政）	民間企業		東武動物公園駅の西口駅前再開発をきっかけとし、駅の東口及び西口周辺のエリアを生活者の視点から生活圏と捉え、行政と民間が緩やかに連携することを目指す。これまで、そのための準備のミーティングを重ねている。
316	日本工業大学	「新井白石」小・中学生プログラミングコンテスト2020	令和2年度	自治体（行政）			「新井白石」が縁で千葉県君津市と埼玉県白岡市との間で締結した友好都市協定を記念し実施したもの。白岡市は本学宮代キャンパスが所在する宮代町に隣接しており、地域交流をはじめ本学とは密接な関係にあることからコンテストの後援を行った。
317	日本工業大学	宮代町児童クラブ 理科実験教室	令和2年	自治体（行政）			宮代町児童クラブ受託運営業者からの依頼で、宮代町の児童クラブで理科実験教室を実施。令和2年度は8月にふじ児童クラブ、かしの木児童クラブ、いちょうの木児童クラブで超低温の実験計6回を実施した。
318	日本工業大学	幸手市児童館 サイエンスショー	令和2年	自治体（行政）			幸手市児童館の依頼により、サイエンスショーを実施。令和2年度は8月22日に光の実験ショーと万華鏡製作を実施、親子10組が参加。
319	日本薬科大学	薬物乱用防止講演教室	平成22年	高等学校			埼玉県（保健医療部薬務課、教育委員会）、埼玉県薬剤師会との連携を図り、健康や薬について、関東1都6県の高等学校が取り組んでいる生徒向けの「薬物乱用防止の研修会」に講師派遣などを行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による13校のキャンセルがあったが、講師派遣で45校、オンライン録画配信で14校、DVDの提供で8校、オンライン・ライブ配信で2校の計69校の講演教室を行った。
320	日本薬科大学	理科教員のための実践教養講座	平成23年	高等学校			高大連携事業の一つとして、高等学校の理科教育の質的充実を目的とし、埼玉県（教育委員会）の後援を得て、関東1都6県の高等学校の理科教員を対象として研究実習棟の実習室を使用して開催している。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により開催を見送った。
321	日本薬科大学	高校生一日薬剤師体験教室	平成23年	高等学校			埼玉県（保健医療部薬務課）と共催し、県内在住及び県内高校に通学する高校生を対象として研究実習棟4階の実習室、模擬薬局を使用して開催している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により開催を見送った。
322	日本薬科大学	子ども大学 あげお・いな・おけがわ	平成23年	自治体（行政）			上尾市、伊奈町、桶川市が共同で開講する子ども大学に聖学院大学と共に講義、実習をそれぞれの施設を使用して開催している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により中止とされた。
323	日本薬科大学	伊奈町学校開放講座	平成26年	自治体（行政）			①11月7日（土）：講座「ちゃんと知っておきたいワクチンのはなし」 ②11月21日（土）：講座「賢い薬局の利用方法」 ③12月5日（土）：講座「抗加齢的生活のすすめ」
324	日本薬科大学	埼玉未来大学（旧いきがい大学）	平成26年	自治体（行政）			①1月6日（水）：講座「超高齢化社会と認知症」 ②1月12日（火）：講座「東洋医学に基づく栄養の摂り方」 ③1月14日（木）：講座「生薬の味と効きめ」 ④1月15日（金）：講座「東洋医学に基づいた未病と健康」 ⑤1月19日（火）：講座「新型コロナウイルス感染症と血栓症」 ⑥1月28日（木）：講座「健康食品について」
325	日本薬科大学	公民館講座	平成28年	自治体（行政）			①11月11日（水）：講座「わかりやすい感染症のはなし」 ②11月18日（水）：講座「食養生と漢方で健康維持」

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
326	日本薬科大学	健康講座	平成28年	自治体（行政）			①10月3日（土）：講座「東洋医学における予防医学」 ②10月24日（土）：講座「ごきげんが健康に良いのはなぜでしょう？」 ③10月28日（水）：講座「Withコロナの時代の～心がバテない感染予防法～」 ④10月31日（土）：講座「おクスリの話～痛みの軽減を目指して～」 ⑤11月6日（金）：講座「薬物依存者の立ち直りを地域で支えるために」 ⑥12月5日（土）：講座「発酵のちから」 ⑦2月6日（土）：講座「アロマテラピー」
327	日本薬科大学	市民大学	平成28年	自治体（行政）			①12月1日（火）：講座「ウイルスと細菌の違い」 ②12月1日（火）：講座「COVID-19はどんなウイルスか」 ③12月1日（火）：講座「新型コロナウイルスはインフルエンザと何が違う？」 ④12月1日（火）：講座「ワクチンとはどんなお薬か？」 ⑤12月24日（木）：講座「漢方の風邪薬」 ⑥12月24日（木）：講座「嚥下障害」 ⑦12月24日（木）：講座「サルコペニア」 ⑧12月24日（木）：講座「便秘症の漢方薬」
328	日本薬科大学	大学授業開放講座	平成28年	自治体（行政）			埼玉県知事と本学学長とが協定書を交わし、埼玉県福祉部長と本学学部長とが覚書を交わしたに基づき実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、全ての開放講座をオンライン配信とし、前期は6講座を開放し、延べ16名が受講、後期は8講座を開放し、延べ11名が受講した。
329	日本薬科大学	連携高校の生徒に対する実習	令和元年	高等学校			①11月22日（日）：実習「天然物化学実習」① ②11月29日（日）：実習「天然物化学実習」② ③12月3日（木）：実習「アルコールの体内代謝」
330	人間総合科学大学	生涯学習公開講座	令和元年度	自治体（行政）			生涯を通して様々な学習を継続している地域の市民や社会人を対象とした公開講座 第42回『こころ』と『からだ』のつながり～心身一如の過去・現在・未来～ 第43回冬に備える心身健康の知識と実践～誤嚥と転倒を考える～
331	人間総合科学大学	さいたま市主催 第8回学生政策提案フォーラム in さいたま	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			「第9回学生政策提案フォーラム in さいたま」において、「食品ロスフェス in さいたま」「瞬間保冷剤を活用した熱中症対策」をテーマの発表を行った。
332	人間総合科学大学	子ども大学SAITAMA	令和元年度	自治体（行政）			さいたま市が行っている子ども大学の講義の1つを岩槻キャンパスで開催した。さいたま市の4～6年生が対象で、10月19日に「赤ちゃん誕生までの道のり」をテーマに、3名の教員が講師となり授業を行った。
333	人間総合科学大学	子ども大学はすだ・しらおか	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			地域の小学校4～6年生の子どもたちを対象に、大学のキャンパス等で学ぶ【子どものための大学】を開催している。 第1回 種まきで世代間交流 第2回 心臓の不思議に迫る 第3回 自然にふれて自分色を見つけよう 第4回 学園祭で学生気分～お店作りに挑戦しよう～ 第5回 農業体験～埼玉県特産クワイ掘り
334	人間総合科学大学	総合文化芸術祭	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	ボランティア等	第8回人形のまち岩槻の「総合文化芸術祭」が令和2年2月22日～24日まで行われるが、岩槻キャンパスが会場となり各種イベントが行われる。
335	人間総合科学大学	さいたま市タウンミーティング	令和元年度	自治体（行政）			「住みたいまち、さいたま市の魅力」をテーマに、市長と直接意見交換を行った。8名の学生が参加。
336	人間総合科学大学	さいたま市食品ロスプロジェクト	令和元年度	自治体（行政）			さいたま市食品ロス削減施策に関するアンケートに回答し、削減啓発動画をホームページに掲載する協力を行っている。 また、「エコ・クッキング」には8名の学生が参加した。
337	人間総合科学大学	第8回総合文化芸術祭	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	ボランティア等	2月22日～24日、岩槻キャンパスを会場として、ひな人形の段飾りや様々なイベントを開催する。
338	人間総合科学大学	蓮田市商工会いきいき街づくり委員会	令和元年度	産業界（企業等）			梨を使った特産品の開発を行っている。
339	人間総合科学大学	蓮田市蓮田ブランド推進協議会	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		蓮田の郷土料理である呉汁を現代風にアレンジした「蓮田スープレシコンテスト2020」を3月8日に開催予定
340	人間総合科学大学	第3回岩槻西口祭	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	ボランティア等	地域交流を目的として、体力測定や子供向けに輪投げや動物探し等で出店した。
341	人間総合科学大学	ナト・カリ調味料を使用したランチメニューの開発・販売	令和元年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		本学では3年前から、さいたま商工会および、さいたま商工会会員の事業所とナト・カリ調味料を使用した商品の共同開発を行っている。今年度は2/5（水）～2/20（木）いけす料理寿々屋にて、「多良福（たらふく）御前～旬の鱈でお腹いっぱい幸せ適塩ランチ」を販売
342	人間総合科学大学	大学コンソーシアムさいたま	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
343	人間総合科学大学	さいたま市タウンミーティング	令和2年度	自治体（行政）			「市民憲章・市民の日について考えよう」をテーマに、市長と直接意見交換を行った。2名の学生が参加。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
344	人間総合科学大学	蓮田市商工会いきいき街づくり委員会	令和2年度	産業界（企業等）			梨を使った特産品の開発を行っている。
345	人間総合科学大学	蓮田市蓮田ブランド推進協議会	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		蓮田の郷土料理である呉汁を現代風にアレンジした「蓮田スープレシピコンテスト2020」を3月8日を予定していたが、新型コロナ蔓延防止のため延期となった。
346	人間総合科学大学	ナト・カリ調味料を使用したランチメニューの開発・販売	令和2年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		本学では4年前から、さいたま商工会および、さいたま商工会会員の事業所とナト・カリ調味料を使用した商品の共同開発を行っている。今年度は4店舗で健幸テイクアウトメニューを販売する。
347	人間総合科学大学	大学コンソーシアムさいたま	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
348	人間総合科学大学	さいたま市食品ロスプロジェクト	令和2年度	自治体（行政）			さいたま市では平成30年度より「さいたま市食品ロス削減プロジェクト」を開始し、食品ロスの削減を推進するため、事業者と市でつくる「チームEat All」事業に参加している。
349	文教大学	越谷市シルバーカレッジ	平成21年度	自治体（行政）			越谷市在住の60歳以上の方を対象に、生涯学習の一環として学習の機会を提供する。 ※令和2年度はCOVID-19感染防止のため実施せず
350	文教大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短大（大学・短大間連携）	H25年度までは「子ども大学こしがや」H26年度より「子ども大学こしがや・まつぶし」 越谷市及び松伏町在住の小学生に発展的な学習の機会を提供するため、本学および他の団体が連携し、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」をテーマにリレー講座を実施している。 ※令和2年度はCOVID-19感染防止のため実施せず
351	文教大学	親子科学教室	平成15年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			NPOとの共催で、夏休みに公開講座として開催している。実験を伴い、自由研究への導入としても役立つ内容を提供する。また、親子で参加していただくことで、大人にも発見のある講座となっている。 NPO埼玉の楽しい科学ネットワーク講師 ※令和2年度はCOVID-19感染防止のため実施せず
352	文京学院大学	高大連携講座「高校生のまなびとあそびのキャンパス」	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			ふじみ野高校普通科1年生を対象とした体験授業。学生による課外活動の説明の後、各学部・学科の教員が担当する体験学習を重視した複数回講座のうち、希望する1講座を受講するプログラム。教員指導の下、進行を大学生・大学院生が務める講座もある。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。
353	文京学院大学	商店街活性化プロジェクト	平成30年度	地域団体（商店会）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス周辺のシャッター商店街を大学生と地域の連携活動により活性化を実施。現在は空き店舗を借り大学生が地元の子どものための交流を図る駄菓子屋を運営している。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。
354	文京学院大学	都市一農村交流による福島再生プロジェクト	平成18年度	地域団体（協議会、農家団体）	自治体（行政）	大学（大学間連携）	東北大震災後の福島農村・農業を活性化するグリーンツーリズムを実施。都市と農村の住民が相互交流することで福島の農業を支援していく活動。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。
355	文京学院大学	ボランティア支援活動	平成17年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス地域連携センターBICSでは、学生が中心となり、近隣地域の小学生、自治体、町内会、NPO法人、高齢者施設、障がい者施設と連携し、音楽演奏、スポーツ、レクリエーションなどのボランティア支援を定期的に行っている。令和2年度はコロナ禍のため対面活動は見送ったが、学生が主体的に関わる活動「家でできるボランティア」をBICSのプロジェクトとして取り組んだ。学生が作成したものを送り届ける形で「地域高齢者との手紙での交流」と「高齢者施設への季節の壁面装飾制作」を行った。
356	文京学院大学	市民大学ふじみ野	平成14年度	自治体（行政）			平成14年の「町民カレッジ」を初期として、以来ふじみ野市との連携で、「市民大学ふじみ野」と名称を変え、ふじみ野市を中心に市民に対する公開講座を開講して来た。令和2年度コロナ禍のため実施は見送り。
357	文京学院大学	公開講座 ウィークエンドフォーラム	平成4年度	自治体（行政）			ふじみ野市及び周辺地域に対する知識の提供を目的として、公開講座を開講。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。
358	文京学院大学	アートフェスタふじみ野	平成29年度	自治体（行政）			包括協定締結先のふじみ野市のイベントに、学生、教職員が出演及び運営に参加している。令和2年度はコロナ禍により12月1日よりオンデマンド配信（YouTube）をスタートし、12月20日（日）にはライブ配信により実施。
359	文京学院大学	淑徳大学・文京学院大学共催公開講座	平成14年度	自治体（行政）	淑徳大学		富士見市、ふじみ野市、三芳町その他の地元社会において公開講座を開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供する事を目的とする。令和2年度コロナ禍のため実施は見送り。
360	文京学院大学	彩の国大学コンソーシアム	平成14年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県内にある18の大学が連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展を図るとともに、生涯学習や地域貢献を目的として公開講座を開講する。令和2年度は、コロナ禍のため公開講座の実施は見送ったが、教職員対象の研修会（オンライン研修会）を本学教員が講師となり1月25日（月）に実施した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
361	文京学院大学	子ども大学ふじみ野	平成25年度	自治体（行政）			子ども大学ふじみ野は「まなびでつながりひろがる人と地域を育むまちふじみ野」を基本理念とする「ふじみ野市生きがい学習推進計画」に従い、普段学校では学ぶ事の出来ない専門的カリキュラムによって、子供の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。 具体的には、総合テーマを「共に生きる社会の理解」とし、多様化している現代社会において、課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきっかけとなる学びを提供している。 対象者は市内に在住する小学校4～6年生とし、文京学院大学ふじみ野キャンパスを中心に、原則市内で実施している。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。社会福祉の充実に関する事項や、教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事項、環境の保全・回復・創出に関する事項、産業振興、地域コミュニティの発展、人材育成に関する事項。令和2年度は「公務キャリア特講（2年後期）」の授業において、市役所の全部署のご担当者様からオンラインにより講義を実施した。
362	文京学院大学	ふじみ野市と学校法人文京学園との連携協力に関する包括協定書	平成28年度	ふじみ野市			双方が実施する教育連携事業等への生徒、学生の参加。双方の教員による出前授業及び施設・設備の利用や教員の資質向上のための研修。教育についての情報交換及び交流。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。
363	文京学院大学	文京学院大学人間学部とふじみ野高等学校との教育連携に関する協定書	平成29年度	埼玉県立ふじみ野高等学校			学生交流として、両大学の学内行事、課外活動、地域社会との連携活動、サークル活動等を通して学生の教育や諸活動を支援し、学生間交流の活性化を目指す。教員交流として、両大学での要請に応じて共同研究の実施、学士教育の改善に資する意見交換や研修等を通して幅広い交流を図る。 事務職員交流として、事務職員の資質向上、学生支援の改善に資するため、相互訪問や相手大学の研修会への参加、行事への参加等を通じて幅広い交流を図る。令和2年度はコロナ禍のため対面での交流は中止、オンライン学園祭で双方交流を行った。
364	文京学院大学	文京学院大学と中京学院大学との相互交流に関する協定・覚書	平成29年度	中京学院大学			学生がふじみ野市役所を訪問。市役所の仕事等をご説明をいただき、公務員の仕事への理解を深めることを目的として実施。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。
365	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	自治体（行政）			学生が地元企業を訪問。地域経済への貢献、仕事の内容などへの理解を深めることを目的として実施。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。
366	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	産業界（地元企業）			大学の所在地であるふじみ野市にてインターンシップの受け入れを依頼。令和2年度はコロナ禍のため実施は見送り。
367	文京学院大学	インターンシップ	令和元年度	自治体（行政）			埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の18大学・13自治体で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」に令和元年6月1日加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、入試広報活動、FD・SD、防災訓練、就活支援、地域との連携事業（イベント等）に取り組んでいる。令和2年10月27日（火）には共同FD・SDをオンラインで実施し、令和2年12月8日にふじみ野市とTJUPとの協定を締結した。
368	文京学院大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		コロナ禍の影響により人々の生活に変化が生まれたことをきっかけに、「人との繋がりを大切にしながらほっとする時間を作りたい」と話し合いを続け「おうち時間プロジェクト」を立ち上げる。プレーメンズに所属する学生6名が埼玉県ふじみ野市の老舗茶舗松澤園にご協力をいただき旬の新茶と家で楽しめる塗り絵をセットにして想いをつなげる社会貢献を目指し活動を展開。売り上げは医療従事者、生活困世帯の子どもたちを支援する「LOVE POCKET FUND(愛のポケット基金)」、令和2年7月豪雨災害義援金（日本赤十字社）へ全額寄付を行った。
369	文京学院大学	おうち時間プロジェクト	令和2年度	産業界（地元企業）			文化事業の一環として、入間市民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供することを目的（協定内容）として昭和55年度（1980）に開始した。長年にわたり親しまれ続け、今年度（令和2年度）で41回目を迎えた（昨年は台風のため中止）。現在では入間市教育委員会入間市立中央公民館が主催し、「市民コンサート」として市民に広く定着している。例年10月中旬から下旬の間に、両者で検討のうえ日時・会場を設定している。
370	武蔵野音楽大学	入間市 市民コンサート	昭和55年度	自治体（行政）			例年、11月中に本学のコンサートホール「バッハザール」を開放し、地域の高等学校音楽祭が開催されている。令和2年度も開催予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となった。
371	武蔵野音楽大学	埼玉県 西部地区音楽祭	昭和55年度	幼保・小・中・高等学校等			平成29年度より大学、大学院が全て江古田キャンパスで学修することになり、入間キャンパスでの演奏会を実施しなかったため、残念ながら令和2年度も連携コンサートは行われなかった。
372	武蔵野音楽大学	入間市・武蔵野音楽大学連携コンサート	平成24年度	自治体（行政）			読売新聞所沢センターとの連携事業で、毎回本学より優秀な演奏者を派遣し、読売新聞購読者に対しクラシック音楽に親しむ機会を提供している。例年は7月下旬に「真夏の夜のコンサート」と合わせて年2回実施していたが、平成28年度からは主催者の都合により12月の「クリスマスコンサート」のみの実施となった。平成30年度は会場の所沢ミュージズの改修工事に伴い中断、令和元年度と令和2年度も中断の状態が続いている。
373	武蔵野音楽大学	クリスマスコンサート	平成10年度	産業界（企業等）			例年10月～11月に市内近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「バッハザール」を提供している。毎年、主催者の要望に応え、本学より演奏者をゲスト出演させている。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からホールの貸し出しは控えた。
374	武蔵野音楽大学	入間市立西武中学校合唱祭	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月に市内近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「バッハザール」を提供している。主催者からの要望があった場合は、本学より演奏者をゲスト出演させている。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からホールの貸し出しは控えた。
375	武蔵野音楽大学	入間市立野田中学校合唱祭	平成21年度	幼保・小・中・高等学校等			

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
376	武蔵野音楽大学	入間市立藤沢中学校合唱祭		幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月に市内近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「パッサザール」を提供している。主催者からの要望があった場合は、本学より演奏者をゲスト出演させている。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からホールの貸し出しは控えた。
377	武蔵野音楽大学	日高市教育委員会「新春ファミリーコンサート」	平成19年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		日高市教育委員会（生涯学習課）と日高市文化協会が共催の日高市民を対象とした「新春ファミリーコンサート」。毎年日高市文化体育館ひだかアリーナ（サブアリーナ）で開催されている。主催者の要望に可能な限り応えるよう、学内より優秀な学生を選抜して実施している。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止せざるを得なかった。
378	武蔵野音楽大学	子ども音楽大学いるま	平成25年度	自治体（行政）			「子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供する」目的で、「子ども音楽大学いるま」と銘打って、入間市教育委員会生涯学習課との連携により、地域の小学生（4年生～6年生）30名を対象に9月～10月の3日間実施している。令和2年度も3回の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から最終的には中止せざるを得なかった。
379	武蔵野音楽大学	クリスマスコンサート	平成28年度	産業界（企業等）			平成28年度に初めて企画されたコンサート。主催は入間市立図書館西武分館指定管理者の㈱ヴィアックス。同図書館内の視聴覚室を利用し、近隣在住の市民が気軽に音楽に触れる機会を作ることが目的。令和2年度も計画されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止せざるを得なかった。
380	武蔵野音楽大学	入間市文化創造アトリエ・アミーゴ アフタヌーンコンサート	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			入間市の公共施設「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」は、市民のNPOによる運営で、演劇、音楽、古典芸能、アートなどの文化芸術分野で様々な事業を展開している。同じ入間市内にキャンパスを持つ音楽大学として、市民にクラシック音楽に親しむ機会を提供すると共に、地元出身の若い演奏家を応援するコンサートとして、本学ヴィルトゥオーゾコースの学生を中心とした演奏会を毎年開催し、市民から好評を得ている。
381	武蔵野学院大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			新型コロナウイルス感染症状況に鑑みて本年度は実施無し。
382	武蔵野学院大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			新型コロナウイルス感染症状況に鑑みて、昨年度締結高校への挨拶のみとし、本年度は実施は無し。
383	武蔵野学院大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	新型コロナウイルス感染症状況に鑑みて、自治体、企業との実行委員会のズーム会議のみとし、本年度は実施無し。
384	明海大学	子ども大学にしいるま	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	大学、市、町、県が連携し、大学教授等プロフェッショナルが小学校で教えないような課題を大学で教えるという、子ども（4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。以下の2分野の講義を基本としている。 1.ものごとの原理やしぐみを追う「はてな学」 2.自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
385	明海大学	病診連携と登録医制度	平成15年度	その他			埼玉県歯科医師会の各都市歯科医師会と連携し、登録医の患者紹介による診療、診断の補助、共同診療など効率的な医療の推進。 明海大学歯学部メディアセンター利用や研修会、セミナーへの参加。
386	明海大学	図書館の施設開放	平成15年度	その他	その他		病診連携登録医、SALA（埼玉県大学・短期大学図書館協議会）加盟館の学生及び教職員並びに城西大学の学生及び教職員への図書館開放。
387	明海大学	坂戸市と女子栄養大学、城西大学及び明海大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく事業	平成18年度	地域団体	自治体	大学等	坂戸市は、市民の多くが首都圏で働く、典型的なベッドタウンである。そのため、団塊の世代の退職者が増加するに従い、急速に高齢化が進む可能性が高く、「生活習慣病予防」の対策を積極的に行うことが大変重要な時期にある。現在、明海大学歯学部は、「食を通じた健康づくり応援店」の認定審査に参加している。
388	明海大学	坂戸市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	坂戸市消防団「大学生機能別団員」に明海大学、城西大学及び女子栄養大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時（火災予防及び消防団PR活動、出初め式及び防災訓練など）及び大規模災害時（避難所等での支援活動など）の活動に協力することで、地域防災体制の一層充実を目的としている。
389	ものづくり大学	おもしろものづくり教室	平成20年度	自治体（行政）			行田市民の小学生を対象に、ものづくりの楽しさや面白さを実感してもらう。また、ものづくり大学の「技術および知的資源」を活用した事業を実施することにより、行田市における教育環境等の充実にも寄与することを目的とする。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
390	ものづくり大学	公開講座	平成13年度	自治体（行政）	その他		本学の理念等を広く社会に周知させるとともに、地域の文化の向上、活性化に資することを目的とする。 行田市民を対象とする「市民特別公開講座」と、県民全体を対象とする「特別公開講座」について、講師を招いて講演を行う。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
391	ものづくり大学	子ども大学ぎょうだ	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。全日、本学職員が参加している。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
392	ものづくり大学	マンガカーレース大会	平成14年度	自治体（行政）	その他		日本機械学会関東支部埼玉ブロックとの共催、行田市教育委員会の後援により実施している。 電池を使用した簡易な車の模型を作成し、コースで走らせることで、小学生に”考えて作る”機会を与え、ものづくりの楽しさを実感してもらうと同時に、工夫して機械の性能向上を考察する体験を通じて科学技術への興味を促している。 一方で、イベントの企画運営・小学生への指導などを大学生主導で行わせることにより、ものづくり活動の疑似体験、および社会に貢献する満足感を与え、さらにはコミュニケーション能力の向上を図っている。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
393	ものづくり大学	みんなで作る公園整備事業	平成16年度	自治体（行政）			本学で制作した東屋等を無償で行田市に提供している。 2020年度： 東屋1基を提供 門井公園へ設置
394	ものづくり大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		行田市民大学への学内施設の貸出および講師派遣 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
395	ものづくり大学	小学生を対象とした木工教室	平成16年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			行田市の自治会の要請で、本学教員・学生による「木工教室」を開催、木工の製作体験をした。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
396	ものづくり大学	夏休み体験教室	平成28年度	その他			ユニクス鴻巣管理事務所の要望により、小学生を対象とした木工教室を開催した。建築研究会の学生が木の写真立ての製作を指導した。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
397	ものづくり大学	子ども大学こうのす	平成25年度	自治体（行政）			大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
398	ものづくり大学	鴻巣おもちゃの病院との連携	平成23年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			鴻巣市社会福祉協議会主催の「鴻巣おもちゃの病院」が、本学の学園祭においても開院している。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
399	ものづくり大学	埼玉県立防災学習センターでの出展協力	平成28年度	自治体（行政）			卒業制作である耐震模型、液状化模型等を寄贈しており、引き続き学習教材として展示・利用されている
400	ものづくり大学	授業製作物の寄贈、貸出	平成13年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	企業	授業製作物である東屋やベンチ、遊具などを、公共施設を中心に寄贈している。一部は貸出という形で設置している。
401	ものづくり大学	プログラミング教室	令和2年度	その他			行田市の小学生を対象としたプログラミング教室を開催した。 2020年度： 10月31日「PICAPICAプログラミング」
402	ものづくり大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		3者における教育研究と学術交流及び地域連携活動における協力の促進を図ることを目的とし協定を締結した。新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止にした事項もあるが、2020年度は以下を実施した。 2020年秋 オンライン学園祭についての情報交換 2020年11月12日 三大学に3市1商工会議所3商工会も交えた協定締結 2021年2月18日 三大学合同研究発表会 埼玉純真短期大学との共同研究プロジェクトとしてキッズハウス制作
403	ものづくり大学	リカレント教育	平成22年度	自治体（行政）			県と大学が協力して、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放する。 前期・後期ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
404	ものづくり大学	埼玉国際学園との連携	平成26年度	その他			熊谷にある日本語学校である埼玉国際学園との連携協定に基づき、見学の受け入れなどを行っている。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
405	ものづくり大学	中学生の職場体験	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			鴻巣市の中学生が「鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業」として本学の学生食堂で職場体験を実施 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
406	ものづくり大学	県内各種団体による大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	自治体・行政による視察や、学校等の社会科見学のための大学見学の受け入れ 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
407	ものづくり大学	職場内での短時間保育	平成30年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			NPO法人子育てネット行田との連携協定に基づき、職員等の子育てサポートとして職場内での短時間保育の環境を整えている。
408	ものづくり大学	インターンシップ	平成14年度	産業界（企業等）	地域団体 (NPO、ボランティア等)	自治体（行政）	ものづくり大学のインターンシップは、ものづくり教育の基礎となるカリキュラムの中で、将来企業で活躍するための社会人を身に付けるキャリア教育として位置づけられている。実務現場での研修を通して学習の意欲を高め、仕事をする意味や現場での考え方、コミュニケーションの必要性など社会人としての素養を高めることを目的としている。2年次の第2クォータに必修科目として配当しており、実働40日間の長期インターンシップは本学の特色の一つとなっている。なお、期間は6月中旬から8月中旬となっている。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
409	ものづくり大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成26年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業。高校生が普通の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会とすることを目的とする。対象は、埼玉県の高校で学ぶ生徒及び高校教員。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
410	ものづくり大学	(高大連携事業)大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生の大学見学の受入れを実施。 2020年：11月飯能南高校2年生（25名）
411	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生のインターンシップ受入れ		幼保・小・中・高等学校等			県内高等学校から高校生のインターンシップ受入れを行った。 2020年度：熊谷工業高校（1名）：8月4日～7日 岩槻北陵高校（5名）：11月16日～19日 大宮工業高校（7名）：11月18日～19日
412	ものづくり大学	(高大連携事業)ものづくり大学出張授業		幼保・小・中・高等学校等			高校と大学を結ぶ高大連携を目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 ものづくり大学の授業の一端に触れることで、大学で勉強する内容を知るとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを感じてもらおうとともに、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」をあわせもつ有為の人材を育成して、ものづくり産業の発展を目指すという本学の設立の趣旨からも、出張授業がその一助になることを願っている。 2020年度出張授業：三郷工業技術高校
413	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生・大学生共同プロジェクト		幼保・小・中・高等学校等			高校生・大学生による共同プロジェクト事業。岩槻市の地場産業であるひな人形をモチーフにしたアクセサリー等の製作。 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止
414	ものづくり大学	行田市市内病院へのフェースガードの寄贈	令和2年度	産業界（企業等）			教員を中心に製作したフェースガードを、行田市内の病院に寄贈した。
415	ものづくり大学	県内病院や医師会へのウォークスルー型PCR検査用テントの提供・貸出	令和2年度	産業界（企業等）			県内の病院や医師会に、本学教員と企業が共同開発したウォークスルー型PCR検査用テントを提供・貸出した。
416	ものづくり大学	鴻巣市内公共施設の施設用品の製作・修繕	令和2年度	自治体（行政）			鴻巣市の公共・教育施設等から依頼を受け、卒業制作の一環として、施設用品の製作および修繕に取り組み、各施設に寄贈した。
417	ものづくり大学	熊谷市星川夜市の什器製作	令和2年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)	産業界（企業等）		熊谷市のまちづくり（事業）の一環として、星川夜市（星川夜市実行委員会・星川商店街等）で使用する什器（屋台看板）を卒業研究で制作し、無人販売を提案、社会実験としてアンケートをとり利用者の様子や販売状況をまとめた。
418	ものづくり大学	行田市の足袋蔵エリア改修計画	令和2年度	その他	自治体（行政）		行田市の足袋蔵エリアを活用した、アドレスホッパー（特定の住居を持たずに各地の拠点を渡り歩くライフスタイル）とのマッチングのための改修計画を提案した。
419	ものづくり大学	戸田市の空き家の蔵改築、敷地活用計画	令和元年度	その他	産業界（企業等）		研究の一部に文部科学省科学研究費の助成を受け、取り組んでいる。 埼玉県戸田市の空き家の蔵改築、敷地活用を計画し、住宅の機能を保持し、固定資産税の軽減を図り、敷地と一体の暮らしを実現する「蔵住宅」を提案、設計・施工を継続する。
420	ものづくり大学	埼玉県伊奈町に根差した建材店の木質化改修	令和元年度	産業界（企業等）			建材店の事務所のデスクや出入口ゲートを県産材で木質化する改修計画・施工を行った。
421	ものづくり大学	埼玉県戸田市の木造空き家改修に関する意識調査	令和元年度	その他			研究の一部に文部科学省科学研究費の助成を受け、取り組んでいる。 学生のDIYに関する情報共有と空き家問題や大学の実習への関心との関連を検討し、戸田市の木造空き家改修へ向けての知見とした。
422	ものづくり大学	行田市の高齢者福祉施設の増築・改修計画	令和2年度	産業界（企業等）			行田市の高齢者福祉施設の増築・改修計画について依頼を受け、設計の提案を行った。
423	ものづくり大学	羽生市商店街活性化のための空き店舗改修設計	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		羽生市商店街活性化のための空き店舗の改修設計案の提案を計画した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
424	ものづくり大学	羽生市の商店街に対する今後の活用方策および事業者の課題抽出に関する研究	令和2年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		羽生市経済環境部商工課、MALL DESIGN実行委員会と共同で取り組んでいる。羽生市の地域住民や商店街組合に属する全事業者を対象にアンケート調査し、商店街の今後の活用方策や事業者の課題抽出を行った。
425	ものづくり大学	長瀬町における観光来訪者および観光事業者を対象としたSNSについての研究	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町企画財政課および産業観光課と共同で取り組んでいる。SNSによる観光宣伝ツールとしての宣伝効果と今後の効果的な展開方法、事業者の利用実態等を調査研究する。
426	ものづくり大学	コロナ禍が中山間地の防災意識と避難行動に及ぼす影響に関する基礎的研究-長瀬町の事例-	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町企画財政課と共同で取り組んでいる。コロナ禍がもたらした住民生活への影響を調査し、災害時の避難対応の傾向について基礎的検討を行った。
427	ものづくり大学	コロナ禍の長瀬町における観光地の選択動機の基礎的分析	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町企画財政課および産業観光課と共同で取り組んでいる。コロナ禍における観光地評価や観光者相互のマナーに対する評価を調査分析し、観光産業の需要回復へつなげる活用方針の検討を行う。
428	ものづくり大学	長瀬町の公共交通の導入のプロセスが住民の利用意識の変化に及ぼす影響に関する研究	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町企画財政課と共同で取り組んでいる。2017年から行われた一連の取り組みによる地域住民の公共交通に対する認識への影響について、分析を行った。
429	ものづくり大学	長瀬町における地域のコミュニティとレジリエンスの相関性に関する基礎的研究	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町企画財政課と共同で取り組んでいる。長瀬町のコロナ禍による感染症災害を事例とし、地域レジリエンスの向上要因としてコミュニティが与える影響について分析を行う。
430	ものづくり大学	東松山市内の社寺建築悉皆調査	平成30年度	自治体（行政）	その他		官学連携事業として、東松山市内野本地区の社寺建築悉皆調査を行った。あわせて円光寺厨子、氷川神社本殿、八幡神社本殿の実測調査、図面制作を行った。
431	ものづくり大学	行田市歴史的建造物行田窯の調査・図面制作	令和2年度	自治体（行政）	その他		行田市内の行田窯（足袋蔵）、実測調査および図面制作を行った。
432	ものづくり大学	鴻巣市の日枝神社本殿建物調査・図面制作	令和2年度	自治体（行政）	その他		鴻巣市の日枝神社本殿の建物調査および図面制作を行った。
433	立正大学	立正大学オープンカレッジ	昭和42年度	自治体（行政）			熊谷市と、その周辺都市の住民を対象に毎年前期後期にそれぞれ4回の講座を開催しております。講師陣は立正大学全8学部（仏教・文学・経済・経営・法学・社福・地球・心理）の各学部より1名ずつ出しています。
434	立正大学	立正大学デリバリーカレッジ	平成20年度	自治体（行政）			地方の自治体と共催で、毎年春と秋に地域住民を対象にした講座を開催しております。講座の内容は宗教、文学、歴史、社会、経済、経営、法律、福祉、環境、心理などさまざまな分野に及んでおります。 【令和2年度開催都市】 三郷市（埼玉県）、筑西市（茨城県）、座間市（神奈川県）、千葉市（千葉県）、郡山市（福島県）、佐野市（栃木県）、高崎市 全6都市
435	立正大学	子ども大学くまがや・なめがわ	平成22年度	自治体（行政）			子どもたちの素朴な疑問や知的好奇心を満足させるため、様々な分野での学びの機会を提供することを目的としております。熊谷市・滑川町の小学生4年生から6年生を対象に、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」について大学の先生や専門の方たちで、わかりやすい授業を心がけております。
436	立正大学	子ども大学ベアリス☆ひがしまつやま	平成30年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		埼玉県、東松山市、社会福祉法人などと連携し、特別支援学校・学級に通う生徒児童を対象に、公教育では経験できない学びの機会を提供しています。
437	立正大学	立正大学ラグビーフェスティバル	平成20年度	自治体（行政）			市民へのラグビー普及とラグビーを通じた交流、および幼稚園児や小学生などへの指導による学生の社会貢献と人間的成長を目指すために開催しております。
438	立正大学	直実市民大学	平成22年度	自治体（行政）			熊谷市から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
439	立正大学	埼玉未来大学	平成23年度	その他			埼玉未来大学から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、県の生涯学習を支援しています。
440	立正大学	桶川市民大学	平成21年度	自治体（行政）			桶川市から講師依頼を受け、桶川市民の方々に大学生の気分を味わってもらうため、立正大学の教員が講師を勤める講座は熊谷キャンパスで開催しております。
441	立正大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）			行田市民大学からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
442	立正大学	ちちぶ学セミナー	平成30年度	自治体（行政）			秩父市からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
443	立正大学	くましん立正大学ジョイント・カルチャー教室	平成23年度	産業界（企業等）			熊谷商工信用組合との共催で市民に向けた講座を開催。講演の内容については、本学の8学部の特徴を活かし文学、歴史から環境、心理に至るまで、幅広い分野になるよう心がけております。
444	立正大学	産学官連携まちづくりフォーラム	平成18年度	自治体（行政）			熊谷市と共催して地域との関わりについての話題を通して、新たな産業を生み出す力（産業力）を探ることを目的として、市民および企業関係者を対象にフォーラムを開催しています。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
445	立正大学	日本酒制作プロジェクト	平成26年度	産業界（企業等）			熊谷市で唯一の酒造メーカーである「権田酒造株式会社」と連携し、本学学生がオリジナル日本酒を作成しました。2015年度には熊谷市のふるさと納税贈答品に採用されました。
446	立正大学	まちなかりノベーションプロジェクト	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		学生の視点から地域活性化、魅力ある街づくりを提案し、空き店舗を活用して中心市街地に若者を呼び込み、賑わいを創出することを目的に、東松山市、近隣大学学生が連携して街づくり企画を行っています。
447	立正大学	滑川町児童生徒の安全安心のための情報化推進	平成21年度	自治体（行政）			本学地球環境科学部教員が滑川町からの委託により、町内の防犯情報をホームページ上での発信を支援し、安全な街づくりに貢献しています。
448	立正大学	暑さ対策研究日本一支援事業	平成29年度	自治体（行政）			本学地球環境科学部教員が熊谷市からの委託により、市内の気象要素の分析と熱中症発生実態との関連性を精査することで、同市の暑さ対策事業の展開に貢献することを目的としています。
449	立正大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東上地域の大学・自治体・企業と共に、「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくりへの貢献」、「地域産業の活性化」を図ることを目的としています。
450	立正大学	比企地域等大学連携	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東松山市と共に、3大学、2短大と比企地域の活性化を図ることを目的としています。
451	早稲田大学	オープンスクール	平成7年度	幼保・小・中・高等学校等			●「脳の研究」について、高校生に体験してもらう。 （ブタの脳の解剖、神経の顕微鏡観察） ※現在は埼玉県内の高等学校と実施している。
452	早稲田大学	所沢市との「協働によるまちづくり」	平成15年度	自治体（行政）			●市の行政活動に大学が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造する。 ●福祉、環境、教育、文化、スポーツ、芸術などの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与する。
453	早稲田大学	所沢市西地区総合型地域スポーツクラブの支援事業	平成16年度	自治体（行政）			●種目別クラブ活動 ●各種スポーツ教室 ●健康体力相談・測定 ●各種研修会・講演会 ●調査研究 ●会員相互の親睦を深めるための活動 ●その他、クラブの目的達成のために必要な事業
454	早稲田大学	狭山シニア・コミュニティ・カレッジ「生きがい学科」	平成18年度	自治体（行政）			●人間科学部およびスポーツ科学部教員がコーディネートした講座実施（30回） ●授業期間中の毎土曜2限 ●定員30名
455	早稲田大学	所沢市教育委員会並びに早稲田大学人間科学学術院による教育連携	平成19年度	自治体（行政）			所沢市の市立小・中学校へ早稲田大学人間科学部の実習学生を派遣し、学校教育活動の円滑な実施に寄与し、教育現場における体験等を通じて、学生の教育専門職としての意識および教養を高め、学校教育の一層の向上を図る。 実習内容は次のとおり。 ●学習支援 ●その他、学校教育活動に関すること
456	早稲田大学	埼玉県皆野町と早稲田大学人間科学学術院との地域活性化プロジェクト	平成31年度	自治体（行政）			●海外招聘高校生、早稲田大学人間科学部学生・大学院生、皆野中学校生徒との英語交流事業 ●キャリア教育を目的とした皆野町立小学校・中学校、県立皆野高校と早稲田大学人間科学部学生・大学院生との交流事業 ●地域創成を目的としたインターンシップ事業
457	早稲田大学	大学院環境エネルギー研究科・本庄高等学院による本庄ユニラブ事業（こども科学実験教室の開催）	平成16年度	自治体（行政）	小・高等学校等		大学院教員および学生、本庄高等学院教員による本庄市および周辺地域への小学生児童を対象とした科学実験教室の開催。
458	早稲田大学	大学院環境エネルギー研究科正規科目での本庄市におけるフィールドワークの実施	平成19年度	自治体（行政）	企業		友成真一教授と納富信教授の環境・エネルギー演習科目にて、本庄市役所や農家・企業を訪問し、フィールドワークを通じて地域への理解、地域課題の研究や人的交流を行う事を目的とする。
459	早稲田大学	本庄市のスポーツ推進事業「川淵三郎塾」への共同開催	平成21年度	自治体（行政）			市の「川淵三郎塾」（2020年度一部実施） 小学校の芝生化。川淵キャプテン参観のサッカー等の少年スポーツ大会開催。指導者講演会実施（19年度はスポ科 深見英一郎准教授）。なお川淵三郎氏には本学特命教授の職務の一つとして協力している。
460	早稲田大学	本庄市市民総合大学での大学提供講座の開設	平成22年度	自治体（行政）			本庄市が主催する市民を対象とした生涯教育事業「本庄市市民総合大学」において、早稲田大学提供講座を設置し、毎年約20講座程度を提供している。
461	早稲田大学	神川町小学生児童を対象とした国際交流プログラムの実施	平成31年度	自治体（行政）	財団法人	小・高等学校	公財）本庄早稲田国際リサーチパークならびに早稲田大学、児玉郡神川町教育委員会が主催する神川町小学生を対象とした国際交流プログラム「グローバルキャンピングin 神川」の実施。 ●プログラムの企画運営を財団が実施 ●早稲田大学国際教養学部の留学生が講師となり、サポーターとして本庄高等学院の帰国生等が児童の学習をサポート 留学生の出身国の文化や言語習得、英語でのゲーム等を通じて大学生との交流や異文化理解を深めることを目的とする。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
462	早稲田大学	本庄市内小学校での総合学習支援事業	平成31年度	小・高等学校等			早稲田大学本庄高等学院の教諭、生徒が本庄市内小学校に訪問し、総合学習の時間において理科・エネルギー等の講義・実験を通じて科学への理解と交流を図る事業。
463	早稲田大学	秩父市を中心とした「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業 実証実験」への参画	令和2年度	自治体（行政）	企業		2020年10月 秩父市が採択された令和2年度 Society5.0「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業 調査・設計業務委託」に、大学院環境エネルギー研究科 小野田弘士教授が開発した多目的小型自動運転EVを提供するなど実証事業に参画
464	早稲田大学	東京パラリンピック、トルコ共和国テコンドーチームの本庄市合宿受入に係る協力事業	令和2年度	自治体（行政）	トルコ共和国		本庄市のトルコ共和国パラリンピック・テコンドーチーム受入に係る協力事業 ●本学セミナーハウスを宿泊所として提供 ●高等学院学院生のボランティア協力を検討中
465	早稲田大学	本庄市と早稲田大学文化推進部による文化遺産展示施設「本庄早稲田の杜ミュージアム」の運営事業	令和2年度	自治体（行政）			早稲田大学（担当：文化企画課）と本庄市による協働事業として、施設改修費を大学が負担し、運営コストを本庄市がもち2020年10月15日に開館。名誉館長は本学理事の渡邊 義浩。 ●常設展示内容の企画・運営 ●企画展、ワークショップ、講座等の運営
466	早稲田大学	Skyward EDGE連携5大学と埼玉県本庄市合同プログラム	令和2年度	自治体（行政）			「埼玉県本庄市×Skyward EDGE 2020年度コンソーシアム合同プログラム」（2020年8月）として、早稲田、山形、多摩美、東京理科、滋賀医科の5大学の学生が参加する地域イノベーションプログラム。コロナ禍にてオンラインでの実施。本庄市での地域課題（After/Withコロナを解決するためのイノベーション）について5グループで実施し、本庄市若手職員が参加し議論を行った。
467	早稲田大学	本庄市「生涯学習推進大会」芸術鑑賞会	平成30年度	自治体（行政）			本庄市「生涯学習推進大会」芸術鑑賞会において早稲田大学学生団体「早稲田大学グリークラブ」による合唱公演を開催。
468	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 前期公開講座	平成19年度	自治体（行政）			5～10月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学（英語・中国語・韓国語）、パソコンの講座を開設。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
469	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 後期公開講座	平成19年度	自治体（行政）			10～3月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学（英語・中国語・韓国語）の講座を開設。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
470	秋草学園短期大学	子ども大学ところざわ	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県、所沢市、市内の大学とが連携して、小学4～6年生の子どもたちが大学で学ぶ機会を提供する。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
471	秋草学園短期大学	インターンシップ	平成13年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		自治体・企業等にインターンシップの受け入れを依頼、5～12日間程度で実施している。修了後単位が付与される。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
472	秋草学園短期大学	地域活動（ボランティア）	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	その他	自治体、NPO法人、幼稚園・保育園等からの依頼を受け、学生を派遣する。地域保育学科はボランティアが必修科目とされ、修了者に単位（4単位）が付与される。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により外部への派遣なし。
473	秋草学園短期大学	所沢市地産地消推進事業 所沢農産物応援隊	平成28年度	自治体（行政）			所沢市内で生産される農産物の魅力を市内外にPRする「農産物応援隊」として、年間を通じて各地で開催されるイベントに有志学生が参加。 令和2年度は活動実績なし。
474	秋草学園短期大学	地域交流活動	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			新所沢団地自治会と文化表現学科学生との連携。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。
475	秋草学園短期大学	埼玉県西部地域魅力発見プロジェクト	平成30年度	自治体（行政）			平成31年2月15日（金）に埼玉県西部地域振興センター主催でおこなわれたバスツアーに、地域保育学科の学生6名が参加。他の大学の学生と共に、埼玉県西部地域の企業等を訪問し、その魅力を体験した。今後もSNSを通して地域の魅力を発信するため「西方見聞大使」に任命をされた。 10月2日にプロジェクト会議へ参加。
476	秋草学園短期大学	埼玉県民の日高校生「学び」“夢”プラン	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業であり、高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会を提供する。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
477	秋草学園短期大学	駅ボランティア		自治体（行政）	産業界（企業等）		学生約70名が参加し、所沢市、西武鉄道の協力を得て車椅子での移動や、視覚の障がい者の疑似体験をし、障がいのある人々を理解するとともに、駅構内等での介助方法を学ぶ。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
478	国際学院埼玉短期大学	さいたま市委託事業公開講座	平成5年度	自治体（行政）			さいたま市との共催で、さいたま市在住・在勤の18歳以上（学生を除く）の方を対象に、本学の人的・設備的資源を活用した高度で専門的な内容の講座を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
479	国際学院埼玉短期大学	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の公開講座	平成27年度	大学・短大（大学・短大間連携）			市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、共通のテーマを設定し、各大学が公開講座（リレー講座）に参加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施できたのは⑤の1講座であった。 ①"パン作りにチャレンジ"みんなで作るパン講座（2回）※次年度へ見送り ②健康維持・増進のためのエアロビクスエクササイズ（全5回）※開催中止 ③はじめての災害食講座－在宅避難生活を乗り越えるために－※本学学生を対象 ④そば打ち入門（全3回）※次年度へ見送り ⑤国際学院埼玉短期大学認定食育士養成講座※受講対象者を本学学生及び昨年度からの継続受講者のみで実施。（6テーマ・14コマ）
480	国際学院埼玉短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成30年度				平成30年度から本学学生会の活動の一環として、さいたま市内の児童が主体的に小さなまちづくりを行う「ミニ西区」に学生スタッフとして参加してきたが、令和2年度は中止となった。
481	国際学院埼玉短期大学	全国調理師養成施設協会共催公開講座 食育教室2020	平成27年度	自治体（行政）			全国調理師養成施設協会との共催で、小学生を対象に食育をテーマとした公開講座をオンラインで実施した。 「箸の持ち方とマナーを見直して、クイズで楽しく「食」について学ぼう！」 オンライン開催 12月25日から1月27日まで 本学ホームページ・You Tube掲載
482	国際学院埼玉短期大学	幼児絵画展	昭和61年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		埼玉県内の幼稚園・保育園（所）・認定こども園に通っている3歳から5歳までの子供を対象に、幼児教育における表現活動への興味・関心を深め、県内幼児教育の振興に寄与することを目的に開催している。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、応募作品点数をこれまでの半数に制限するとともに、表彰式、作品展示の実施を見合わせ、応募作品は、厳正な審査を経たうえで、本学のホームページ上で優秀作品等の紹介を行った。
483	国際学院埼玉短期大学	味彩コンテスト	平成5年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		一般家庭の食生活の改善や健康増進、高校生の食育推進等に役立てることを目的にバランスの良い健康に役立つ献立を公募し、書類審査、試食審査を行い優秀作品を選出・表彰している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施を見送った。
484	国際学院埼玉短期大学	農・商・学連携地産地消プロジェクト	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		さいたま市農業青年協議会の協力を得て、さいたま市特産の紅赤を本学学生が苗付、除草、収穫等を行い、農作業を通じて農業の役割や食物の大切さなどを理解する取り組みを行っている。また、今年度の実施は叶わなかったが、収穫した紅赤を使用したスイーツを考案し、五峯祭（大学祭）やさいたま市農業祭において販売している。
485	国際学院埼玉短期大学	埼玉教育コラボレーション協定による講師派遣	平成25年度	自治体（行政）			さいたま市教育委員会との間で「さいたま教育コラボレーション協定」を締結し、さいたま市が行う栄養教諭や学校栄養職員・栄養士を対象とした研修会の講師を本学教員が担当している。また、今年度の参加は叶わなかったが、さいたま市立小学校の研究授業に参加する機会を得ている。
486	国際学院埼玉短期大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会と埼玉県私立短期大学協会等との連携により開催する県民の日高校生「学び」夢プランに参画し、本学通常授業に高校生・高校教員の参加を受け入れている。令和2年度は中止となった。
487	国際学院埼玉短期大学	大学の開放授業講座	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方を対象に、本学通常授業への受け入れを行っている。令和2年度は実施を見送った。
488	国際学院埼玉短期大学	高大連携授業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生が「本学教員による出張授業」を体験することにより、専門職業への学びの意欲を高め、興味・関心を持つ分野への理解を深めるとともに、主体的な進路選択を行うことができるようにするための機会の拡充を図ることを目的に高大連携授業を行っている。 埼玉県立鷺宮高等学校 1回目：8月・製菓実習 2回目：10月・西洋料理実習
489	埼玉医科大学短期大学	高大連携事業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大接続改革に向けて、高等学校と大学の教職員間で学力の3要素を身に付けられるようにするテーマをあげ、教育上の情報交換会を実施した。 高校生に対して看護に関する学習の機会を設け、大学教育看護への関心を高めることを目標にして情報交換会に参加の高等学校の学生の希望者へ、オンラインによる配信講義を実施した。
490	埼玉医科大学短期大学	埼玉医科大学短期大学公開講座	平成29年度	自治体（行政）	その他		新型コロナウイルス感染症予防から令和2年度遙光祭（学園祭）を中止した。よって市民公開講座も中止。
491	埼玉医科大学短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		埼玉県高等学校進路研究会と埼玉県私立短期大学協会が行っている「埼玉県民の日高校生学び夢プラン」は、新型コロナウイルス感染症の状況から令和2年度は中止。
492	埼玉純真短期大学	羽生市学びあい夢プロジェクト協議会	平成22年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	羽生市内の教育機関（児童福祉施設、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学等）と教育委員会が連携して、教育交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生及び教職員の成長を促進する活動を行っている。
493	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学市民公開講座	平成21年度	自治体（行政）	その他		中止
494	埼玉純真短期大学	特別支援教育（発達障害）研究セミナー	平成23年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	中止

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
495	埼玉純真短期大学	子ども大学はにゅう	平成23年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	中止
496	埼玉純真短期大学	教員による出前講座		自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地元羽生市や周辺市町村の小・中・高等学校や地域団体からの要請で、教職員による出前講座を実施している。 主な実施内容 ① 小中学校、高等学校等の教職員研修の講師派遣 ② 羽生市、行田市、加須市教育研修センターへの講師派遣 ③ 児童養護施設職員研修への講師派遣 など
497	埼玉純真短期大学	学生による地域ボランティア活動		地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	その他	地元自治体、教育委員会のほか、各種団体からの派遣要請を受け、地域活動をサポートする学生のボランティア活動を推進している。 主な実施内容 ① 県立羽生水族館「スマイル幼稚園」 ② 世界キャラクターさみっとin羽生（オンライン） ③ 保育施設等のお手伝いなど
498	埼玉純真短期大学	地元小学校1年生児童の1日入学	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		中止
499	埼玉純真短期大学	地元小学生（2年生）の学校見学		幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		中止
500	埼玉純真短期大学	クリスマス・ファミリー・コンサート	平成25年度	自治体（行政）	その他		中止
501	埼玉純真短期大学	子ども支援センター	平成25年度	その他			一般市民からの「子どもの発育・発達」についての相談を受け入れている。相談員は大学教員3名が担当している。
502	埼玉純真短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		中止
503	埼玉純真短期大学	高大連携授業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定により、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校の生徒に、本学教員の講義を行った。実施回数：誠和福祉高等学校 3回 進修館高等学校 2回
504	埼玉純真短期大学	中学生のためのオープンカレッジ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		中止
505	埼玉純真短期大学	羽生市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成26年度	自治体（行政）			羽生市との間に、教育、文化、生涯学習、産業、健康・福祉、まちづくり、自然・環境、学術研究、人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。
506	埼玉純真短期大学	行田市教育委員会と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成29年度	自治体（行政）			行田市教育委員会との間に、教育、文化、生涯学習、学術研究、人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。
507	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力協定	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			平成国際大学、ものづくり大学との間に、教育研究と学術交流及び地域連携活動の分野において、連携協力の協定を結んでいる。
508	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立誠和福祉高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県立誠和福祉高等学校との間に、双方の教育機能について交流・連携を行う協定を結んでいる。
509	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立進修館高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県立進修館高等学校との間に、双方の教育機能について交流・連携を行う協定を結んでいる。
510	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立羽生第一高等学校との高大連携に関する協定	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県立羽生第一高等学校との間に、双方の教育機能について交流・連携を行う協定を結んでいる。
511	埼玉純真短期大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力協定	令和2年度	自治体（行政）・商工会議所・商工会・大学			3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域活動に際して産学官の協力促進を行う協定を結んでいる。
512	埼玉東萌短期大学	公開講座「救急講習」	平成24年度	自治体（行政）			消防署の協力を得て、隔年で「普通救命講習Ⅲ」を開講している。内容は、応急手当の重要性（講義）、主に新生児から幼児に対する基本的心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去方法および止血法等となる。 令和2年度も取組みを予定し、10月に実施するように関係機関と調整をしていた。しかし、コロナウイルスの流行拡大阻止のため、提携先からの要請により中止した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
513	埼玉東萌短期大学	見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア	平成30年度	自治体（行政）			平成30年度より、埼玉県民生部青少年課の主催事業である「夢のかけはし教室」（現事業名「見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア」）を開講している。内容は、小学生（4年～6年生）を対象とした、保育士体験プログラム（手遊び歌や紙芝居、参加型劇等の体験、実践）となる。毎回、近隣の保育園に出向き、参加者が保育士（先生）役となり、園児に手遊び等の実演を行うことを実践している。 令和2年度はコロナウイルスの流行により、保育園に出向くのではなく学内でのプログラムを計画していた。しかし、令和3年1月7日に緊急事態宣言が発令されたことにより、今年度の取組みは急遽中止とした。
514	埼玉東萌短期大学	かがくわくわくひろば	令和元年度	自治体（行政）			越谷市科学技術体験センター ミラクルにおいて実施。 2年生を中心に作り上げた科学的な要素を取り入れた保育ショーである。学生参加者は、14名。また、現役幼稚園教諭として卒業生1名がアドバイザーとして参加した。教員は、5名が指導を行った。保育ショーの内容は、紙芝居、マジック、子どもたちが楽しめる科学的な遊びなど取り入れ、最後には、「さんぽ」という曲を歌いながら、手話を取り入れた。地域の親子が94名参加した。
515	埼玉東萌短期大学	布絵本づくり	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			越谷市社会福祉協議会のボランティアサークルとの共同活動（布絵本づくり）を行っている。興味のある学生に絵を描いてもらい、その絵をもとにして、サークル「手づくりの会」が布絵本を作成している。出来上がったものは、今後、地域の図書館に提供し、地域の親子に楽しんでいただく予定。
516	埼玉東萌短期大学	「はぐくみ」おはなし会	令和2年度	産業界（企業等）			あそびパークPLUS（イオンレイクタウン店）でのおはなし会は、月に1回のペースで地域の親子に向けて、紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行うボランティアである。今年度は、11月、12月の実施を行った。
517	埼玉東萌短期大学	「はぐくみ」おはなし会	令和2年度	産業界（企業等）			柏の葉T-SITE 柏の葉蔦屋書店でのおはなし会は、月に1回のペースで地域の親子に向けて、紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行うボランティアである。今年度は、10月、11月、12月の実施を行った。
518	埼玉東萌短期大学	高大連携事業	令和2年度	幼保・小・中・高等学校等			大学教育と高等学校教育の接続の円滑な進行、及び双方の発展に資することを目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 教育連携協定締結校 杉戸農業高校、八潮南高校、武蔵野星城高校
519	城西短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
520	武蔵丘短期大学	インターンシップ	平成3年度	産業界（企業等）			学生が本学で学んだ知識や指導技術を活かす場として、企業や団体において実習的・研修的な就業体験を行う。
521	武蔵丘短期大学	自治体主催講座への講師派遣	平成4年度	自治体（行政）			吉見町、北本市、川島町、鳩山町、寄居町へ教員が専門性のある講義や体力測定などを行った。
522	武蔵丘短期大学	ふじみ野高校との事業	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			「キャリア教育指導」を実施した。
523	武蔵丘短期大学	寄居城北高校との事業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			「陸上競技部員実技指導」を実施した。
524	武蔵丘短期大学	児玉白楊高校との事業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			「ストレッチ指導・ヨガ体操」を実施した。
525	武蔵丘短期大学	飯能高校との事業	令和2年度	幼保・小・中・高等学校等			「各種トレーニング指導」「食事指導」など計7回の講義を実施した。
526	武蔵野短期大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			新型コロナウイルス感染症状況に鑑みて本年度は実施無し。
527	武蔵野短期大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			新型コロナウイルス感染症状況に鑑みて、昨年度締結高校への挨拶のみとし、本年度は実施は無し。
528	武蔵野短期大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	新型コロナウイルス感染症状況に鑑みて、自治体、企業との実行委員会のズーム会議のみとし、本年度は実施無し。
529	山村学園短期大学	公開講座	平成2年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		11月17日、2月9日 川越 小江戸蔵里にて実施 フィンランドの豊かな暮らしと教育とは？～地域の子育て環境を豊かに～

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
530	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	自治体（行政）	その他		埼玉ピースミュージアム；紙芝居読み聞かせ会 山村学園短期大学；認知症サポーター養成講座、はとやまワークショップDAY 鳩山町；はとやま祭、鳩山町子育てフェスティバル、ふれあい広場2019、鳩山町納涼夏祭り、健寿まつり 東松山市；リレー講座、まちおこしランチバック開発プロジェクト 坂戸児童センター；こどもまつり、秋まつり、もちつき会 小川町；七夕まつり竹飾りコンクール出展 毛呂山町児童館；イベント手伝い
531	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア等）		山村学園短期大学；子育て支援サークル 双子ちゃん集まれ秋の遠足、鳩山幼稚園 遠足、ハルム松ノ木保育園 どんぐり拾い 鳩山高校；鳩高祭 展示ブース参加 埼玉育児院；チャリティコンサート ひばり保育園；ひばりっこスキーキャンプ おおやま福祉作業所；利用者誘導、イベント手伝い 富士見すくすく保育園ナーサリースクールSUKUSUKU；お誕生日会イベント 埼玉県こども動物自然公園内こどもの城；絵本の読み聞かせ（毎月第2土曜日、絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター等の上演）
532	山村学園短期大学	教員による出前講座・出張講演	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		鳩山町；「保育ボランティア養成講座」 東松山市；「リレー講座 絵が語る言葉が魅せる心が踊る」 飯能高校；「ダンスにトライ！」 鳩山高校；「ゲームでコミュニケーション」「作って遊ぼう」「まんまる紙ヒコーキ」 川越西高校；「動くおもちゃ作り」 寄居城北高校；「パネルシアターとは、パネルシアターの演じ方」 滑川総合高校；「絵本とプチシアター」
533	山村学園短期大学	里山保全体験学習	平成14年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		鳩山町石坂の森において、里山保全体験学習（下刈り、坪刈り、樹木の伐倒、自然観察、里山遊び、クラフト作成等）を実施。
534	山村学園短期大学	鳩山町つどいの広場「ぽっぽ」	平成20年度	自治体（行政）			鳩山町からの委託を受け、つどいの広場を運営し地域の子育て支援に供している。毎月子育て教養講座を開催し、音あそび、ふれあい遊び、お菓子作り、おもちゃ作り、和紙の折染め、手遊び・歌遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、ハロウィンパーティー（仮装あそび）、クリスマスコンサート等を実施している。
535	山村学園短期大学	子ども大学はとやま	平成27年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）	県、鳩山町、東京電機大学と本学が連携し、鳩山町内の小学4～6年生30名を対象に年6回の講義を実施。本年度の本学での授業は「風と遊ぶ」というテーマで行った。
536	山村学園短期大学	のびのび鳩山	平成27年度	自治体（行政）			鳩山町教育委員会と連携し、鳩山町内の小学1～3年生45名を対象に行事等を開催。学生ボランティアを派遣して子どもたちとの七夕飾り作りや万華鏡作り、また、本学クリスマス会への招待等を実施している。
537	山村学園短期大学	東松山市まちなかりノベーション	平成30年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		東松山市と近隣の5大学が連携し、東松山駅前の活性化を目的に、学生の視点から若者を呼び込める魅力ある街づくりの提案をしている。空き店舗を活用したイベント等で中心市街地に賑わいを創出することを目指す。本学は平成30年度より参加している。
538	山村学園短期大学	比企地域大学等連携協議会 (Dear my net)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東松山市と近隣の5大学が連携し、地域の活性化を図ることを目的に活動している。リレー講座、ランチバック開発プロジェクト等を実施している。日本スリーデーマーチでのクリーンウォーク（ごみ拾い）も計画していたが、今年度は台風による被災によりイベントそのものが中止となった。
539	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
540	山村学園短期大学	東松山ぼたん園まつり	令和元年度	自治体（行政）			ぼたん園にて「親子で水遊び」イベントの補助ボランティアとして3名参加
541	山村学園短期大学	埼玉ピースミュージアム 紙芝居読み聞かせ会	令和元年度	自治体（行政）			埼玉ピースミュージアム講堂にて11月14日学生5名による紙芝居の読み聞かせを行った。
542	山村学園短期大学	埼玉県こども動物自然公園	令和元年度	自治体（行政）			「こどもの城DAY絵本の読み聞かせ」として5名の学生による絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアターなどの上演を行った。
543	山村学園短期大学	毛呂山町児童館まつり	令和元年度	自治体（行政）			児童館まつりでの段ボール迷路コーナーの補助、ダンス遊び披露など6名の学生が運営に参加した。
544	山村学園短期大学	吉見町親子アクティブプログラム	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		吉見町と武蔵丘短期大学の年間を通じた親子でスポーツの基礎づくり・習慣の確立をめざしたプログラムのかけっこ教室（短距離編）へボランティアとして参加した。
545	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		TJUPによる「まなびのみちクリーンウォーク」への参加

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和2年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
546	山村学園短期大学	武蔵丘短期大学 山村学園短期大学公開講座	令和2年度	大学・短大 (大学・短大間連携)	自治体（行政）		新型コロナウイルス感染予防をふまえた子どもの運動あそびとして、親子でふれあう歌あそびなどの運営等を行った。武蔵丘短期大学屋外にて実施。